京城日報

(第三版) 時間表 [illegible]

◎張作霖將軍の出征

二月十一日來奉天將軍段芝貴氏の家に與陶同樣に滯在せる張作霖將軍は袁總統に說服され遂に二十八師團の一部を率ゐて出征する事に決せり其期日は尚ほ未定なりと(奉天特電)

◎四川一帶の土匪

四川省一帶は今や土匪の跳梁跋扈する所となり官憲之が鎭撫に苦しみつゝありと(東京電報)

◎米國陸軍擴張案成案

米國下院陸軍委員會にて査定中なりし陸軍擴張案は愈七日成案となれり此れに依れば常備軍は十四萬乃至十七萬と爲し州民兵及び總ての後備役兵を合せて全部完成の曉は百三十二萬四千七百九十名の兵員を備ふることゝなれり(紐育電報)

◎露國大使召喚發表さる

日本駐剳露國大使マレウスキー、マレウヰッチ氏は不健康の爲め召喚せらるゝ旨發表ありたり(露都電報)

◎英露佛伊經濟同盟

經濟相互救濟に關し英露佛伊の四箇國に於ては經濟同盟を締結したるが日本も右に關し去る二月末より加盟を勸誘され居るも公債其他の關係上不利益なるを以て拒絕す可しと(東京電報)

◎土耳其國力漸く竭く

露國との媾和を欲す

倫敦來電に據れば土耳其は國力漸く竭きて露國と媾和を欲し居れる由を報じつゝあり又華盛頓に在る確なる筋にも同樣の來電ありたりと(紐育電報)

◎一擧勝敗を決せん

ヴェルダンの一大決戰

ストックホルム來電に曰く、ウェルダン要塞中にある大口徑砲十數門は獨逸の攻擊開始と共に悉く後方に搬出され又貴重品一切は巴里に送られ要塞立退き準備完成せり今日に於ける佛軍の防備はヴェルダン要塞を外廓とし其後方に第二野戰陣を構成す是れ佛軍ヴ要塞にて極力抵抗して獨軍に對し能き得る限りの打擊を與へたる後同地方に於て野戰上の一大決戰を試み一擧に勝敗を決せんとするに在りと(紐育電報)

◎宮崎丸も停船

去る二月十八日復又宮崎丸シンガポール沖にて英艦の爲めに停船を命ぜられ停船の爲め發砲したる實彈代二十四弗を支拂はせられたり(東京電報)

◎吉長鐵道交涉行惱

北京に於ける吉長鐵道交涉は目下行惱みの姿となれり(奉天特電)

◎鞍山站鐵鑛の滿鐵經營

日支新條約に依り利權を獲得せる鞍山站附近の鐵鑛山は滿鐵に於て引受け經營する事に決せりと(東京電報)

◎清浦子飛躍か

東京來電に據れば最近に內閣流產以來捲土重來の機を捉へんと密に政界の情勢を窺ひ居たる清浦奎吾子は過般貴族院に於ける形勢險惡を呈し時局の前途意外の變化を來さんとする模樣ありし際勇躍一番大に暗中の活動を試みたる事實は既に世人の熟知する所なるが昨今尚時局の轉換如何を觀測し何等か爲すあらんと秘密運動すると同時に屢々目白椿山莊に出入せる由なるが老元帥近來の病狀面白からざるより面會謝絕され居れる由なるも何等か暗中飛躍し居れるは事實なりと(門司電報)

◎海軍擴張財源

海軍擴張の財源は二個師團增設の財源の如く之が捻出困難となり頗る不安の狀態に陷れり(東京電報)

◎對英輸出米

英國向輸出米としての商談進捗せる今日までの約定高は一萬三四千噸(內一千五百噸は南米積)見當に達すべく而して右は總て六月迄に積出の筈なるを以て神戶精米所は昨今晝夜兼行の多忙を極めつゝありと因に右一萬四千噸は一噸約七石として九萬八千石に相當せりと(門司電報)

◎米大下落

正米白米共大下落す(東京電報)

◎捕鯨合同

東洋捕鯨株式會社長岡十郎氏は曩に開會せし朝鮮勸農株式會社長として總會に列席の爲め來關中なりしが八日大阪に於て豫て計畫の全國八捕鯨會社合同に關する各社重役の打合會に列席の爲め上阪したり同合同は愈々來る卅一日具體的發表を見ん(門司電報)

◎川村檢閱使

川村特命檢閱使一行十四名九日商船香港丸にて門司寄港同日午後出帆臺灣へ赴けり(門司特電)

◎川村中將

川村第九師團長は金澤に於て重態に陷れりと(東京電報)

九日夕刊

定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

◎天候と記念日

十日午後三時三十分より龍山軍司令官々邸にて舉行の陸軍記念日祝典は風雨に拘はらざるは勿論なれど萬一雨天の際は[illegible]內の兵器庫にて[illegible]同日午後一時より[illegible]舉行の[illegible]演習、高等馬術、銃劍術、集合試合等は見合せ官邸內にて單に祝典を舉ぐるのみに止むる豫定なりと但降雪の節には何等豫定の變更を爲さずと云ふが天候模樣に依れば或は降雪あるやも計られずと

◎松村武官出發

入京中なりし侍從武官松村海軍大佐は九日午前八時三十分南大門發急行にて歸東の途に就けり

◎李道長官陞敍

全羅北道長官李斗璜氏病氣危篤の趣き天聽に達するや特旨を以て八日附左の如く陞敍の御沙汰ありたり

全羅北道長官 李斗璜

敍從四位勳三等授瑞寶章陞敍高等官一等

◎李道長官卒去

七日正午來昏睡狀態に陷り居れる全羅北道長官李斗璜氏は九日正午遂に卒去せる旨其筋に到電ありたり享年六十有四歲悼む可し

◎立花總長歸任期

立花警務總長は全州憲兵隊本部及び警務部光州警察署及び憲兵隊本部榮山浦憲兵分隊、長興憲兵分隊、麗水警察署順天憲兵分隊、統營警察署等を巡閱し八日午後馬山に上陸汽車に搭乘十日午前歸任す可しと

◎荒井長官歸任期

荒井長官の歸任期に就きては未だ其筋に通知なきを以て確定せざるも議會終了後に於ける總督府豫算の打合せ上尚ほ多少の日子を要す可く早くも三月下旬ならでは歸任の運に至るまじと

◎兒玉局長歸任期

久しく東上中なりし兒玉總務局長の歸任期は未だ確定せざるも遲くとも兩三日中には東京出發の豫定なりと云へば數日中には歸任の運びを見る可し

◎鳥山院長赴任

京城地方法院長より平壤覆審法院長に榮轉せる鳥山虎也太氏は九日午前九時十分南大門驛發にて赴任の途に就けり停車場には國分司法部長官、渡邊高等

◎岩本地方法院長

釜山地方法院長より榮轉赴任せる京城地方法院長岩本以明氏は八日總督府及所屬官廳を訪ひて著任の挨拶を陳べ同日より登廳したり

◎ハ博士出發期

ハリス博士は十五日南大門驛發列車にて出發東京に向ひ一週間滯在の上二十五日橫濱出帆歸國の途に就くと

◎新任警視赴任期

新任警視(咸興)林和一(木浦)吉野藤藏(群山)[illegible]三氏は孰れも十一日朝出發赴任の豫定なりと

李斗璜氏略歷

全羅北道長官李斗璜氏は嘉永六年正月京城西署餘慶坊芳橋第二十八統第一戶に生る、明治十五年武科に及第し十六年三月初めて訓練院主簿、軍左營哨官に任せらる、爾來訓練院大隊長に歷任し、明治二十八年七月第一訓練院大隊長に任せられしが二十九年一月七日國事犯の罪名を負ふて日本に亡命せり、四十年九月特赦を受け十月中樞院副贊議を拜し、越えて四十一年全羅北道觀察使に榮進す、明治四十三年十月朝鮮總督府地方官官制の實施と共に朝鮮總督府全羅北道長官に任せられ高等官二等に敍せらる同年十二月從五位を賜り大正二年正五位に敍せられ以て今日に至る資性著實溫厚にして亦英斷果決に富み朝鮮人道長官中錚々の聞えあり殊に東學黨の亂に當り日本の爲めに盡せる功勞は國民の永く忘る能はざる處なりと

平壤

▲平壤中學校改稱 平壤の中學校は豫算の關係上大正四年度に於て京城中學校平壤分教室と稱しゐたるが來年度總督府豫算通過せしを以て大正五年四月より官立平壤中學校と改稱さるべく新校長遠からず來任すべしと

▲地方費豫算 大正五年度平安南道地方費豫算は地方係木村道書記主として編成中なりしが最近概算書出來せしに付草案及び說明書を篠田第一部長富永事務官の手許に提出し爾來道幹部の間に於て審議中の由に付近く決定を見るべしと

▲江西貯蓄會 江西郡書記齋藤氏夫妻が常に率先して鮮人民風の改善產業の獎勵に努めつゝある事は道內の一美談なるが最近に至り道內有志十餘名を自宅に招き貯蓄の必要缺ぐ可からざるものなる事を懇々說示せし結果一同も大に感動して邑內に數個の貯蓄組合成立し各副業の收入を以て貯金しつゝある由

▲軍人會講演會 平壤在鄉軍人會に於ては十日午後七時より黃金町演武場にて講演會を開催する由なるが出演者は『滿題未定』[illegible]憲兵中佐『歐洲戰亂實驗當時の狀況』[illegible]

▲吉松道事務官『飛行機に就て』[illegible]

▲南判事赴任期 [illegible]

▲細野警視發期 [illegible]

▲三浦副官歸任 [illegible]

沙里院

▲既報の如く沙里院實業協會は成立せるを以て去る五日會頭以下役員の選擧を施行せる結果左の如く當選せり

會頭 松本良吉 [illegible]

▲沙里院學校組合大正五年度の收支豫算案の編成を了し其筋へ認可申請せられたるを聞くに

歲出入とも五千九十三圓にて之を大正四年度に比較すれば[illegible]

大邱

▲道長官以下出張 慶北道廳にては記念桑苗植栽事務監督並に實施指導の爲め李道長官は松井技手を隨へ來る十一日より向ふ十五日間の豫定にて達城金泉尚州聞慶醴泉榮州奉化安東青松の各郡へ、入澤第一部長は宮崎技手を隨へ來る十一日より向ふ一週間の豫定にて永川慶州へ參與官は大村技手を隨へ八日より向ふ十日間の豫定にて星州漆谷善山へ吉田事務官は堀川技手を隨へ十八日より迎日へ矢島試補は荒木技手を隨へ八日より向ふ八日間の豫定にて軍威義城高靈の各地方へ岸技師は中川技手を隨へ十二日より慶山清道高靈地方へ孰れも前記記念桑苗植栽事務監督並に實施指導の爲め出張の筈

▲自動車營業許可 大邱安東間自動車運轉は豫て忠淸南道公州郡公州面旭町二四五番地金甲淳より出願中なりしが愈々三月六日を以て大邱義城間乘合自動車營業を許可せられ線路は大邱より多富軍威義城を經て安東に至るべきも義城安東間の道路改修竣成迄は大邱義城間とし停留所は多富軍威義城にして賃金は大邱より多富に至る一圓十錢軍威に至る二圓十錢義城迄は三圓十錢なりと因に營業開始は許可當日即ち三月六日より三十日以內なれば遠からず運轉開始の運びに至るべし

安東

▲安東學校組合 慶北道安東學校組合にては組合事務所に於て豫算案會議を開催し大正四年度歲入出追加更正豫算を議決したるが左の如し

▲歲入經常部▲六千一圓既定豫算額▲五千七百一圓追正豫算額▲[illegible]▲歲出經常部▲二千四百八十五圓既定豫算額▲[illegible]合計五千七百一圓、差引殘金無

青松

▲地主組合組織變更 慶北道青松郡に於ける地主組合は從來組合員僅かに二三名にして全く有名無實の狀態にあるを以て郡當局は之が改善を圖り實施の効果を收めんが爲め其の組織を變更すると同時に範圍を擴張し[illegible]以上の土地所有者を組合員と爲すことに決し二月十九日地主總會を郡廳內に開催し會するもの二十六名にして大正五年度の事業計畫を協定し組合長には郡東面趙定植副組合長には巴川面沈相元を推薦し尚ほ小作契約の改善小作人土地愛護觀念の助長生產の改善增收及び籾包裝に要する莚類の調査小作收納率を一定すること及び肥料農具資金貸附方法小作人共同苗代播種實行優良品種の栽培生產物の貯藏及び販路の研究又は鑑賞の防止地主小作人間の紛議調停其他役員經費大正五年度事業計畫組合員は小麥優良品種を各一斗宛購入し自ら栽培又は小作人に配布すること等に關し審議を爲せり

◎重石鑛と忠州の盛況

現在朝鮮に於ける重石鑛は忠淸北道忠州郡を第一とし[illegible]

釜山

▲陸軍會計檢査 陸軍會計監督部々員奥田二等主計正は駐劄軍各隊會計檢査中なりしが七日午後來釜陸軍運輸部釜山支部、同倉庫釜山支庫、衛戍病院釜山分院、釜山憲兵分隊、同守備隊等の合同檢査をなし七日午後[illegible]丸にて歸東せり

▲陸軍記念日 十日の陸軍記念日には釜山公立高等小學校學生の士氣を鼓舞する爲め釜山守備隊と對抗にて午前七時より龍頭山を中心となし市街模擬戰及び[illegible]演習をなす

▲ホテルの玉突 釜山停車場ホテルに於ては同階上宴會場を改造し鮮內唯一の東京[illegible]製最新式ミッション式玉臺を据付け旅客及び一般地方民の使用に供する事となし三月[illegible]日より開場せり

東京より

[illegible]

人事消息

▲安原啓太郎氏(臨時派遣隊第二聯隊長步兵大佐) [illegible]

▲吉田庄祐氏(龍山第十九師團司令部參謀少佐) 八日朝內地より釜山着[illegible]

▲山口九十郎氏(海防艦司令官海軍少將) 八日午後釜山を經て內地へ

▲緒方多賀雄氏(朝鮮派遣第一聯隊長) 八日內地より釜山着[illegible]

▲佐藤恒丸氏(陸軍一等軍醫正) 八日午後釜山發內地へ

▲伊藤徹太郎氏(同步兵少佐) 同上

▲生井耕造氏(司法官試補) 同上

▲今野孫三氏(山林課技師) 造林事業視察の爲め十六日より慶尚南北、京畿水原郡へ出張

▲池田泰治郎氏(土木局技師) 昌原水利組合事務視察の爲め十一日全北へ出張

▲田中卯造氏(內務部[illegible]) 八日平安南北道へ出張

▲野手耐氏([illegible]) 八日入京不知火館に投宿

▲奥野保左衛門氏(本紙[illegible]) 九日平安南道[illegible]赴任の途通過

ドーモン要塞

ヴェルダン要塞戰に關する報道は區々であつて眞相を捕捉するに苦しむ所であるが▲獨軍が二月廿一日以來猛然として決行する强襲によつて其第一線陣地を奪取して▲今や第二線陣地に肉迫しようとして標高三百八十五米突のドーモンの丘麓に直寄せに迫つて居る▲そして此處で必死となりて逆襲に轉せんとしてゐる佛軍と接觸を保ちつゝあるやうである▲此ドーモンが一旦獨軍の手に奪はれるやうな事があると▲ヴェルダン迄は緩傾斜を爲してゐて距離が僅に一里半位に過ぎないから▲此處から市街まで左右の各分派砲臺に向つて自由自在に俯瞰射擊をやることの能きる便利のあることが▲丁度旅順に於ける二百三高地の如うなものであるから▲ドーモンの爭奪は此點に於て極めて重要の意義を有つてゐる譯である

鐵砲は 横濱の金丸銃砲店に限る
(御註文の際は銃砲の名例へば[illegible]とか鐵とか其他夫々御申込の際[illegible])

鞄 內田問屋 東京市芝區伏見町

小兒便秘特效 腸胃病兒營養 MALT-EXTRACT
マルツエキス
各醫科大學各專門學校病院御用品
諸博士實驗報告御申越次第贈呈
東京神田小川町通 和光堂

馬鈴薯 [illegible]

商標登錄 蚊帳 綿 鋼 製直
蝸牛印製綿蚊帳發賣元 大阪市東區安土町三丁目
山本佐七商行

神嚴なる立太子式
天長節御祝日に擧行されん

皇太子裕仁親王殿下の立太子式は愈々來る十月三十一日の天長節御祝日を以て御擧行の事に內定し近日宮內大臣より之れを公表し右準備委員も任命の運びとなるべく噂ふるものあり右に付御內定の有無を波多野宮內大臣に質したるに「未だ內定はせざるも多分其頃を以て御擧行の事となるべし」と語れり尚立太子式御擧行當日は賢所皇靈殿神殿に於て御奉告祭あり終りて賢所大前にて神嚴なる立太子式御擧行あり式後直に御參內朝見の儀を行はせられ續いて宮中に於て盛大なる御祝宴を開かせらるゝ由にて當日は神宮及び神武天皇明治天皇各山陵に奉幣の儀を行はせらるゝに付特に勅使を差遣あらせらるゝ由に洩れ承る（東京）

海軍航空隊の壯擧
全國の各港灣訪問＝氣流の觀測

海軍航空隊にては曩に陸軍航空隊が滿洲地方に於て防寒飛行に好成績を擧げたるに鑑み今回金子少佐の命令にて教官大尉に數名の飛行將校を引連れ若宮丸にフォールマン式カーチス式の兩機を搭載して我が全國の港灣並に要所々々に立寄り數週間を經て歸港の豫定なり、其目的は飛行機の積下し及び氣流の觀測並に飛行操縦等の研究にありと

平壤攻擊に參加す
逝去したる全羅南道長官李斗璜氏
私と談判した當時の追懷
—國分李王職事務官の談—

全羅南道長官李斗璜氏が逝去されたとの事であるが誠に惜しむべき人を失つた氏は剛直寡默の人で軍人らしい素質を備へて居るが地方官としても亦永い間任地に在つて地方人民の爲め殖產工業の奬勵土地開拓の指導と云ふ樣な事に全力を盡し一意專念地方民の幸福を圖つて居つた氏は東大門外往十里に生れて其の

▲門地は餘り 高く無かつたと聞いて居る明治十六年頃韓國政府で支那の兵式を採用する事と爲つて其の訓練兵を募集した事が有つた氏は其際武科に及第して哨官と爲つた此れからその軍人生活が始まつたのであるが私が始めて氏を知つたのは明治十七年の十二月廿八日の事であろ十七年の變に仁川に引揚げた竹添公使は同地に於て韓國要路の人達と談判を始めて居つたがどうしても思ふ樣に進捗しない處から遂に意を決して一小隊の步兵を引率して

▲京城に乘込 で外務大臣と直接談判を爲ようと云ふので二十六日仁川を發し二十八日麻浦の對岸に著して見ると麻浦の渡船場には約一個大隊の兵が陣を張つて嚴重に守備を爲て居る其處で私は二三の兵士に護衛され船にて通行の談判に行つた

▲渡船場を守 つて居つた大隊長は何んと云ふ人で有つたか名前をよく記憶して居らぬが甚ごく威張つて何うしても道を開いて通して呉れないそれならば宜しい此方も其の覺悟で打破つて通るより外はないと交涉が破裂しさうになつた此の時渡船場守備の一將校として居つたのが李斗璜氏であつた氏が私の談判に耳を傾けて成る程これから

▲京城へ談判 に行くと云ふ公使の一行を其の途中で防害して路を通さぬと云ふ理由は無いと大隊長を說いて漸く事無きを得た此の時の話は後々まで氏が追懷してよく話す處であつた其後明治廿七年東學黨蜂起の際に氏は一方の討伐隊長として

▲奇功を奏し たが間もなく韓國兵が日本軍隊の訓練を受ける事となつた時氏は多數軍人の中から選拔せられて訓練院第一大隊長に任ぜられたが間もなく同年十月日韓の攻守同盟が締結せられたので氏は韓國軍隊を代表して一箇大隊の兵を率ひ大島少將の旅團に屬して

▲平壤攻擊に 參加し平壤の秩序回復後京城へ凱旋した二十九年三南の東學黨殘徒一掃の際にも氏は特に選拔せられて日本軍に屬し全羅南道海南に於て

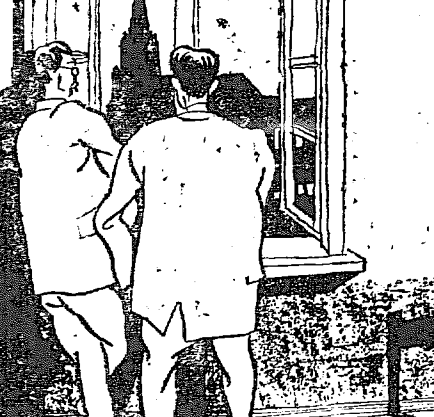
▲賊徒を剪滅 したが其の後王妃事件に關係の嫌疑を受け二十九年日本へ亡命するの止むなきに至り前後十一年間日本に遊び四十年赦されて歸國し全羅道觀察使に任ぜられ併合後も引續き全北長官として今日に至つたのである今日此の人の逝去を聽くは惜む可きことである

危險思想の女
▼逃走中取押へらる

龍山彌生町遊廓六番地開盛樓事[illegible]方の抱へ[illegible]
後樓主に於て取調べの結果同人は逃[illegible]
同樓を逃げ出し姿を晦ましたれば其を樓主が聞知して連れ歸りたりと

不良染料を販賣す

[illegible]狀態なるを以て其筋にて取調べたる處製造元及び輸入元等のことは未だ判明せざるも該品は殆んど[illegible]はず從つて市場に於ける小賣商人等は其帖[illegible]知らるるもの多く販賣の徑路は安州、博川、鎭南浦の如き鐵道沿線より各地に販賣したるものなりと（安東縣）



□春の宵—（三）夜の祈禱 鐘が鳴り出した。夜の祈禱の鐘が鳴り出した。解き難い謎の樣に異黑な教會堂の尖端が、海の底の女神の瞳を想はせる。柔い星に圍まれて囁く樣に顫へて居る。夜の祈禱の鐘は家毎の窓から窓へ流れて水の樣に、若い旅人の胸に沁みてゆく—千帆

匪魁捕縛
馬賊團の
段將軍討伐隊を派遣す

將軍署に達したる報告に據れば興京縣管下柳河縣境を距る二十滿里の河子地方に馬賊の大集團現はれ又た庙平縣內にも三四十名の一團横行せりとの事にて段將軍は前者に對して鳳凰城駐屯の騎兵一營後者に對して附近駐屯の步兵一中隊を派し討伐を命せり尚久しく各縣を荒せし有名なる匪魁兎子閻王は陸軍第五十三旅の兵に攻擊せられ黑山縣にて捕縛せられたりと（奉天特電）

桃山遊廓の合意心中
男女共生命危篤

九日午前八時頃龍山桃山遊廓六番地末廣樓二階六疊の室に於て合意の情死沙汰あり女は同樓の抱娼妓笑歌事小林いね（二七）と云ひ男は馴染客なる龍山元町二丁目居住の無職山根庄吉（三五）といふものなるが庄吉は以前より足繁く笑歌の許に通ひ兩人は覺悟の死を決して苛性曹達を仰ぎて打倒れ人事不省に陥り居るを家人が發見し大騷ぎとなりて元町派遣所に急報したるに同所より憲兵出張檢視したるに兩人共虫の息あるより女は即時彌生病院に男は生野病院に擔ぎ込みて加療中なるも何れも生命危篤なりと尙ほ男が彼の遊興費に窮したる結果遂に合意の上右の次第に及びたるものならんと

五警視送別宴

京城鍾路警察署勤務より木浦警察署長に榮轉の警視林和一氏警務總部警務課勤務より羅山警察署長に榮轉せる警視寺島才次郎氏並に林、張、安の三警視の爲め八日午後七時より南山町京城ホテルに於て送別宴會を開催せり一同席定るや警務部勤務の松尾特務曹長は發起者側を代表して一場の挨拶をなし之に對し林警視は來賓側を代表して懇篤なる謝辭を述べそれより會食に移り午後九時頃散會せり會する者柿原、西大山監獄典獄司令部大橋副官警務部境警視宮舘本町署長松井鍾路署長其他京城在勤の各警察官署の警視警部等約八十名にて頗る盛會なりし

朝鮮の婦人界に投げられた黎明の光
新教育ご小女 能く調和する

新教育を受けた女がどんな風な生活をして居るか調べて見ると彼等の多くはどうしても婚期に後れると云ふ傾向がある最も幼兒時代に婚約したり入輿した者は別であつて亦斯う云ふ風に人の妻と爲つた者はそれが子供で毎日遊んで居るにしても外へ出て

■學校教育を受ける■樣な事は滅多に無い

ないそれで學校教育を受けて居る子は多く未婚者であつて卒業する迄は大低結婚を延期する斯うなると家にばかり居る女に比して一般に結婚年齡が遲れる事になる猶其の上に學校を卒業した女を朝鮮の世間では何んだか

■取扱ひ難いように■ ■感じて一寸躊躇す■

る傾向が有る最も求婚者たる男子は大いに教育を受けた女を要求して居るから遠からず新教育を受けた女が非常の勢力で歡迎される樣になるであらう朝鮮女子教育の最高學府と云ふべき

■京城女子高等普通■ ■學校の卒業生を見■

ると明治四十三年以降昨年迄に百三十六人の卒業生を出して居る此の中で結婚した者は四十三人結婚後寡婦となつた者が三名死亡した者が四名後は未婚者で八十六名ある是れから見ても未だ舊式の朝鮮

■社會が教育を受けた■ ■女を餘り好まない■

と云ふ傾向が認められる然らば新教育を受けた朝鮮の女はそれほど社會と調和せぬものであるかと云ふと決して然うではない彼等は結婚後の二年間はどんな親しい友達に對しても手紙一本出しはしない況や訪問などは思ひも依らぬ所である彼等は結婚すると同時に

■美しい觀念を拋棄■ ■つて舊式の不和顏■

に爲つて終ふそして一文の小使錢も自由に出來ず一冊の雜誌さへ與へられて居られぬけれども少しの不平不滿も無い況や婦人自から覺醒しなければならぬ等の思想はいまだ其の胸に萌した事もない彼等は未だ

■自己を認め得るの■ ■程度に達して居ら■

ぬ彼等の投げたる幽かなる光は廣大なる因習の暗に呑まれて其の光明は哀れに微弱なものではあるが一度放たれた朝の微光は無限の暗よりも强いそれに打ち勝つべき運命と理由を有つて居るのである（終）

旭町の朝火事
損害一千四百圓

九日午前九時二十分頃京城旭町一丁目六番地大工飯槐島潔方より出火せり京城の各常備義勇等の消防隊は直ちに現場に驅付け鎭火に努め一方近隣なる本町警察署にては署長以下出動して警護に努めたるが同所は本春三十餘戶を燒失せる大火ありたる箇所にて殊に家並櫛比し居る場所柄とて一時は種々の騷ぎなりしが全燒瓦葺平屋一棟四戶半燒一戶にて同四十分鎭火せり幸に人畜の死傷なきも此損害見積額約一千四百圓に達せり發火の原因は今尚取調べ中なるも多分火鉢の炭火が傍らの鉋屑に燃え移りたるものならんとの噂あり

京都の大正座燒失す

八日午後京都市今出川寺町西へ入る大正座外四戶燒失せり（大阪特電）

記念綬章授與
在鄉軍人は皆出席せよ

三月十日は陸軍記念日とて此日龍山駐箚軍司令部及び第九師團等にては種々の催ふしあることは既報の通りなるが同日正午より龍山練兵場に於て在鄉軍人京城分會にても觀閱記念の綬章授與式擧行の筈にて當日は井口軍司令官立花警務總長初め軍司令部、師團司令部の各參謀、憲兵分隊長等參列すべく京畿道長官、京龍在住の在鄉軍人は當日成るべく多數出席を希望すべしといふ

按摩さんの芝居
京城按摩業組合の美擧

京城按摩業組合員中の有志の主催にて白耳義又は若草町大火罹災者救恤金寄附の目的にて組合員中の有志相寄り來る十一、十二の兩日壽座に素人芝居を興行し收益高より費用を差引きたる分を寄附すべしと

靴十足を盜む

仁川府居住忠淸北道槐山郡七星面綿水里四統三戶孟興泰（三〇）は內里九十一番地鄭承檢方に於てキット皮製編上靴一足を盜みたるを手始めに同里金鋪秦外九箇所に於て雜洗靴九足（總價二十五圓五十錢）を窃取し之を仁川港碇舶中の通船業中臺五外二名に賣却したる事發覺し仁川警察署にて取調の上檢事局に送られたり

借家研究（三）
□市中と郊外
何方が棲易いか
季節ご郊外生活

一萬二千戶からの貸家を門內門外に分けると門內の方が餘程多く門外の方は少ない。但し今門外と云ふ所があつても家賃の少ない郊外といふ所は一層少ない樣だ。郊外より京中に住宅向きの貸家が多い理由は京城の市街が現在の市街で狹隘を感ずる程になつてゐないのに原因しこれから段々市街が膨脹するに連れて

◆住宅は結局郊外 に移つてゆく事になるだらうが、京城の家賃が內地の各地に比較すれば勿論の事、朝鮮の各地方に比べても餘程高率だといはれるのは、貸家が市街に多いからである。何故かといふに京城の市街になつてゐるところには門の內外を問はず坪十圓以下の土地はない。それに反して郊外になれば市中とは

◆然まで隔離れて ゐないところで二三圓も出せば立派な宅地がある。然らば何故家主が郊外に家を建てないかといふに、それは市街にまだ大分の餘裕があるのに因る事は言ふまでもないけれども、一つは今日のところ借手が非常に少ない事が主なる理由になつてる。それに朝鮮—殊に京城附近では人家の稠密してゐないところは迂路ついてゐて怪盜物騷である。

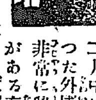
◆空巢狙や搔攫ひ 借手が少ないといふのはいろ〳〵の關係があるけれども先づ冬の寒氣が强く通勤に困難な事、電車が不便な事、買物に不便な事、などが主な理由だ、それでも家賃が安いので春から夏にかけては郊外生活をする者もあるが

◆秋から冬になる と皆バタ〳〵市街に引越して終ふ[illegible]い時分に郊外に[illegible]く[illegible]さ市中に[illegible]家が[illegible]といふ事實には特に[illegible]しい樣である。これから[illegible]は郊外に家を建てるのを嫌ふ、一年の間は空家になる心配が多く、その上に家賃の[illegible]を持つて行かれてしまう懼れが多いと來ては先づ郊外の

◆建築に一二の足 を踏むのも無理からぬ次第ではある郊外でも長家でも並んで一廓を爲してゐる所なら知らず、家の少ない所に盜棒の見張所を置くのも不經濟なことで先づ郊外には力を入れない方針を採る事になつたのださうだ、それでも昨今新町附近から奬忠壇にゆく道の東四軒町、並木町、吉野町の上の方から古市町、東大門附近、東小門附近にも

◆新建の家が出來 た樣だ。勿論家賃は市中のそれに比べて三四割方廉い、簡易生活の第一階段としては先づ居を郊外に移す事である。電車の便が惡いとすれば京城などでは全部歩いても知れたものだ寒さにしても決して郊外に居つて凌げぬといふ程ではない市中に住めばそれはいろ〳〵

◆便利な點もある が先づ普通の勸め人は郊外に出た方が經濟上には非常に有益である。京城の勸め人が總別無性であるのは內地に比べて生活力の豐富の故ではあるまいか。それは兎に角改るべく一般の住宅が郊外に移つてゆくは望ましい事である。



二月中に朝鮮鐵道に乘つた外國人の統計には非常に興味のあるものがある南北行男女の總計百五十四人中一番多いのは南行露人の百十三人で殆んど大部を爲し▲而も其大半が元氣旺盛な農業商業乃至勞働者の青年のみで其等は皆長春若しくは哈爾賓から横濱へ行つて居る▲一時頻りに噂のあつた徵兵忌避米國移住の者と見られたのは此連中である▲其他は皆三人五人多くて北行の米國人九名と云ふので之は宣教師連らしい兎に角恁く南下露人の通過は珍現象である

連絡船上陸客

八日午後釜山入港新羅丸一、二等客 小一郎、原南浦吉、淺岡甫吉、吉田寛誠、綱戶得哉 三等（七十六名）
八日午前釜山入港新羅丸一、二等客 一等（六名）吉富庄路、安原啓太郎、外人四名 [illegible]吉田長吉、同ゆき、同[illegible]

天氣 曇時々小雪
三月十日 [illegible]
仁川 [illegible] 釜山 [illegible]
日出 六時五十三分 日入 六時三十五分

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三
三月八日より[illegible]寫眞提供 ▲悲劇 呼子鳥 全三卷 ▲探偵大活劇 二人兄弟 全三卷 ▲石田三成 全三卷 關ヶ原の戰 [illegible]

黄金館 本町四丁目 電話二六三七
▲泰西大活劇 白痴泉（原名野心の果）▲新派悲劇 みじか夜 全四卷 ▲舊劇 紀州騷動根上松 全二十九卷 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番
青年浪界 新派浪花節 京山恭爲 中軒如雲 合同大一座
▲佐倉義民傳（正雲）▲乃木將軍（燕之助）▲須磨の浦風（雲照）▲母車太兵衛（如月）▲義烈百傑（むら雲）▲水府義公（若春）▲五郎正宗（二席如雲）▲軍國の華▲春日若子
○尚ほ出演者多數に付毎日午後[illegible]時必ず開演 破格大勉強入場料一等五十錢二等卅錢三等廿錢

御成座 壽町 電話一九一
江戶ッ子會一行七日目藝題 落語音曲、掛合二輪加、新內浮世節、新派喜劇親のじつ、新內花井お梅、大川ばたの段、辨をどり、新派喜劇 ▲十錢均一

謹近火御見舞 原田寅三郎

謹近火御見舞 京城旭町一丁目 李王職御用 金川靴店

謹近火御見舞 京城旭町一丁目 井上出張所 電話三三一番

謹近火御見舞 京城旭町一丁目 京屋 佐々木 電話二〇九六番

謹近火御見舞 京城旭町一丁目 西島峰二郎

謹近火御見舞 京城旭町一丁目 小間物化粧品 山本繁治郎 電話二〇二五番

謹近火御見舞 米國株式會社 ヴアキユーム、オイル、コンパニー 京城旭町一丁目七番地 出張所 松居辰雄 電話二四七四番

謹近火御見舞 近火の際は早速御馳付御見舞を辱ふし難有奉深謝候一々拜趨御禮可申上筈の處混雜中御尊名伺洩も難計乍略儀以紙上御禮申上候 京城旭町一丁目 高木壽 電話二八一三番

謹近火御見舞 京城旭町一丁目 中央婦人病院 電話二三四〇番

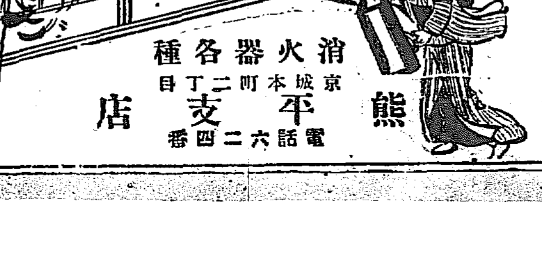
謹近火御見舞 京城旭町一丁目 小森材木店

謹近火御見舞 京城旭町一丁目七番地 土木建築請負業 林喜太郎 電話九九二番

謹近火御見舞 京城旭町一丁目（府廳裏）眞言宗 成身院

謹近火御見舞 京城旭町二丁目（府廳裏）後藤酒場 電話一三八九番

謹近火御見舞 株式會社 京城葬儀社 電話一五六七番 九五七番



産婆並に看護婦生徒募集 入學期四月と十月 規則書郵券二錢 長崎市麿屋町 私立長崎産婆學校

木みち（三）は危險思想……ある娼妓なるが昨年十二月二十日夜……携帯し……自分の部屋に遊客を置き去りにして捜索中の處同人は大田に潜伏し居る

羅南!! 花咲く春（四）

理想的の市街―移轉問題

羅南には昨年大問題が起つた、それは軍用市街地の立退命令である、羅南と龍山とは同様軍用地本位に作つた市街であるから住民は一時そこに借地料を拂つて住まつて居たに過ぎぬ……立退命令に接して吃驚したのも無理ではない、何んで

羅南全景

も一時は有志の一團が總督府へ押寄せて來ると迄傳へられて居たが民間と軍隊の間に常川倉庫長や其他二三有志の者が這入て圓滿に解決を告げた、それにしても現在の軍用市街は軍隊に於て收用し將校官舎を造營する計畫になつて居るから早晩何かに立退なければならぬそこで羅南住民の考へたのが此市街の計畫であつた

△新市街

軍隊の考へでは軍用地内に理想的の市街を建設せんとして軍隊駐屯の最初から軍用敷地貸下を奬勵したけれども其手續に多大の煩瑣があつた爲に反つて軍用地外の羅南川の西南に家屋を設ける者が多く遂に今日では市街の中心が此處に移つて居るから軍用地の市街地に居住をして居る者は少ない

■後光形に設計 されたる羅南市街は蓋し最新式の市街で只だ兵營の間に挾まつて内地人の家屋があるに過ぎぬ、然し將來どうしても全市の中心が此廣漠たる市街に向つて推移して來るに違ひない、否寧ろ既に住民は此方面に眼を注いでゐるのである今回の立退に反對した譯である軍隊の考では軍用地内の市街地は全部將校下士の官舎を建て、家族を住せ一般住民は羅南川外に市街を作らせ

■軍隊と市街を 區別すると云ふ豫定であつたらしいがそれでは双方共不便であるから軍用地の内兵營敷地として必要なもの丶外は全部市街地として拂下げ軍人家族も一般市民も雑居する方がよくはないかとの説も出て今日の處何れにも決定しないが未だ發表されて居らぬが大勢は此雑居説に傾きつ丶ある様だ

△軍隊の爲に

羅南は軍隊のお蔭で存在して居る市街である以上は民間側でも出來得る限り軍隊の便利な方法を執りたいとの考へから若し軍隊が是非現在の軍用市街地を専用して住民に立退を要求するならばせめて軍隊との連絡上現在の練兵場を市街地として拂下を受け、羅南民は其代償として軍隊に相當の

■練兵場を寄附 すべしとまで申出でた者もある、實際今の練兵場は四個聯隊の練兵場としては到底用を爲さない程に狭隘である爲に現に最近に於て市外羅北面に約二十萬坪の練兵場を購入した程である、是れ故に軍隊も永久に現在の練兵場を使用すると云ふことなどは勿論出來るものではない何れ適當な時機に於て民間に拂下げられるものと見て大差はあるまい果して

■拂下げが實行 され此處に羅南の新市街が建設さる丶に至らば羅南住民の喜びは云ふ迄もなく軍隊に取つても甚だ便利な點が多いと思ふ記事は前後するけれども羅南に來て見て一番懐しく思ふたのは町名が全部内地の近畿地方、就中大和奈良地方の地名に因んだのが多い例へば東部は東一條より四條に至り西部は西一條より六條に區劃してある倘ほ市街の風紀取締上三輪の里や吉野町に遊廓を置いたあたりは昔の淨瑠璃文句そのま丶なる感がして

■一種の床しさ を覺える内地人五千數百人の娯樂機關としては一の娯樂場ある外孔子廟、碑閣、水中臺、龜巖臺、看羊島、城德、馬城、砲傑、寶化閣等の勝蹟から名ばかりなれど三笠公園中央公園の形もあらう若し又天然に湧出し居れる温泉に設備を加ふれば清津、鏡城の客を喚ぶことを得ようと思ふ。

延燒三十餘戸

釜山大火の詳報

八日午後九時十分草梁洞釜山公立商業學校より出火したる事は既報の通りなるが同校舎は木造ペンキ塗洋館建の家屋なれば出火後僅に廿五分にして校舎全部を燒失せり而して火災は背面山手の鮮人家屋に延燒なし三十餘戸を燒き拂ひ九時五十分鎭火せり原因は校舎ストーブより失火せしものにて損害額一萬二三千圓位なりと（釜山）

新藥「アーセミン」

先年來獨逸製サルヴアルサン（六〇六號）の製法研究中なりし滿鐵中央試驗所技師藥學博士慶松勝左衛門氏は昨年其の研究完成し獨逸製サルヴアルサンと全く同一にして而かも代價低廉なるものを製出し得るに至りしを以て工場を東京本所區柳島元町に設け製造監督を在京藥學博士朝比奈泰彦氏に動物試驗を藥學士醫學士色川圀人氏に依託し製造中なりしが愈々之を『アーセミン』と名け三月一日より日本橋區槫正町アーセミン商會に於て發賣の筈なり該藥品は日本内地は勿論支那、露西亞、北米、濠洲等へも輸出の筈なるが既に北滿在留の某英人より注文ありたりと尚ほネヲ、アーセミン（新サルヴアルサン）は目下原料缺乏中なるを以て原料整ひ次第製造販賣する由

◉年寄勝の浦死す 東京角力年寄勝の浦與市右衛門は心臓病にて東京下谷龍泉寺町日野病院に入院中の處五日午後六時死去せり享年六十一歳同人は明治十八年千葉縣より出でて力士となり御船潟と稱し廿九年幕下十兩まで進みたり

△花蓮根○ 蓮根の皮をむき長さ一寸二三分に切り是を花形にむき水に漬けアクを出し別に鍋に湯を沸騰した處へ酢を六勺あまり入れ、是の中にてざつと茹で水にて冷ひ、是を再び鍋に戻し、酢に沙糖及び鹽少々を加へしもの丶中にて煮込み、味の良く付し頃取り出し布巾にて良く蓮根の穴をふき乾し置き、別に寒天を水に漬け搾り鍋に入れ是に水二合五勺を加へ火にかけ煮詰め是に食料紅を落し色を付け是を蓮根の穴の中に流しこみ、寒天の凝結し頃一分位づ丶に切り、是を三枚乃至五枚を重ね口取の前盛か或は膾の前盛にする。

商況

債券現物特電

東京 九日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖 一五二、〇〇 ……
日韓瓦斯
朝鮮銀行
朝鮮鐵道
南滿鐵道 一三五、〇〇 ……

公債直取引 特電

東京 九日出來値段（前日との比較）

五分利 九五、一〇 ……

深川在米特電

九日高 朝鮮米 一四九、三五 内地米 一四一、七六 ……

東京期米特電

九日前場 先限 五月限 一三、〇〇 ……

大阪株式特電

大阪株式 ……（前場・後場）[illegible]

大阪三品特電

九日前場 ……

大阪期米特電

九日前場 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 ……

雜報

◉硫酸更に奔騰 ……

增加 ……非常に輸出向 ……

◉洋釘と今後 ……昂騰の原因 ……出廻の十五圓 ……

神經過敏の極に達せる斯界 ……

到底永續せざるべく思ひ一角より賣崩に至るを見るは ……

◉綿糸引戻す ……

◉朝鮮鮭益好況 ……切は元山方面に六十圓 ……高唱 ……

浦鹽物七十圓迄 ……

◉米鮭は氣丈 ……

◉刷毛類續て強調 ……二十錢 ……六圓乃至六圓 ……

輸出約倍額 ……原料品昂騰 ……

下關相場

▲朝鮮白米は不捌 ……

各地商況

◉釜山（八日の穀物） ……

△朝鮮一等白米（當用） △同二等白米（當用） △同 △慶山大豆 △同 △元山大豆 △同 △同大王大豆 △島致院大豆 △端川咸鏡大豆 ……

京城正米

……

京城雜穀

……

南大門の廻穀

……

行賈仲買店

仁川海岸町 ……

仁川現物市場

……

生魚市場

……

仁川期米

▲九日前場 二錢高の入電 ……

▲大商内行 新規に乘替 ……

市場雜聞

前場動かず ……中限も終に大解け商内行は愈先限に決戰を試みる ……

前場の手振り ……中限解商内 ……解合に拍子抜けの大當限 ……

▲變動の微乎 ……千石豫測で先限僅々七八反し大取組 ……平穏の裡に活氣 ……

▲各店大商内 ……五限の前途 ……軟軍 ……嫌氣 ……五限に以て決 ……

▲僻眥の一途乎 ……割高を演じ ……常の引返しに反動の相 ……

▲人氣の裏行く斯界 ……常態 ……地昂騰の餘 ……

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長三二七五九 振替京城三六九

仁川米豆取引所

九日の五月限

賣買取組高

三月限	
四月限	
五月限	

前場 平均値段

小賣白米

日本製六〇六號
（薩ルヴアルサン）

アーセミン
ARSEMIN

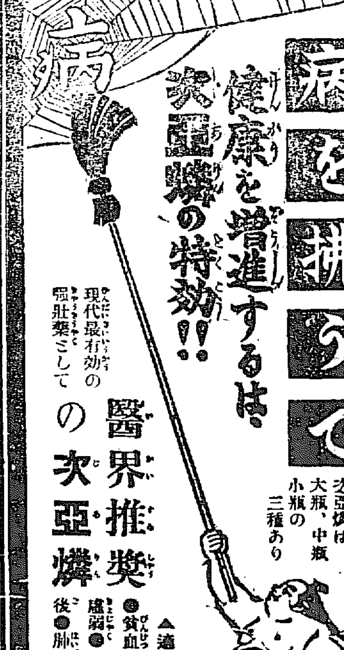
本劑は慶松藥學博士の研究完成せられたるものにして同博士指導監督の下に本商會に於て製造發賣す

本劑は一々精密なる化學的檢定を施したる後更に醫學士藥學士色川圀人氏の嚴正なる動物試驗を經たるものにして品質完全効果確實且つ危險の虞なきことを保證す

（容量）〇・一瓦入 〇・二瓦入 〇・三瓦入 〇・四瓦入 〇・五瓦入 〇・六瓦入 の六種あり

最寄に取次店なき時は直接照會を乞ふ

東京日本橋區槫正町
アーセミン商會
電話本局三八二三番
振替東京三一六六九番



病を拂うて健康を增進するは次亞燐の特效!!

現代最有効の強壯藥として

醫界推奬の次亞燐

▲適應症▼ ●貧血●老衰●虚弱●病後●産後●肺病●腸胃

次亞燐は大瓶、中瓶、小瓶の三種あり

本舗 大阪道修町 小西久兵衛

次亞燐は全國藥店にあり

期米

定期米賣買之委託無代進呈 前金注文は紹介を要せず 大阪市北區堂島濱通一丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人 入江商店 電話北一六五二 六五一〇

宮内省御買上◎各宮家御用

二條公 土方伯 大原伯 御後援

小久保 日柞 兩醫學博士證明

ミルド 化粧液

付る程色白くなる不思議の美顔料

東京の貴族はミルドを愛用せらる

東京 ミルド商會

△廣告▽

通俗家庭醫典

專門十六大家分擔執筆

陸軍々醫總監 男爵 石黒忠悳閣下題字
陸軍々醫總監 醫學博士 男爵 佐藤進閣下題字
醫學博士 栗本東明先生題字
醫學博士 石川貞吉先生序
醫學博士 伊藤徹太先生序

二三類書ありと雖も各科專門醫が心血を濺ぎて分擔執筆せるは本書の外絶對に他なきを斷言す

（石版廿八度刷口繪五枚挿入）

紙數一千頁

小兒科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、齒科、泌尿生殖器科、花柳病、婦人科、産科、法「看護法、消毒、一般救急法等の原因、症候、療法等十六科分に分ち是が大綱を悉く分擔執筆して通俗に丁寧を極めたり

一萬册限り特價即時申込を乞ふ

大判天金總布製箱美本 定價金參圓 特別割引金一圓九十五錢 送料廿四錢

東京神田表神保町 文洋社出版部 三和 振替京城三一四四番

朝鮮代理店 京城南大門通 木浦福山町二

藤澤樟腦

お衣裳が大事ならコレをたんすや長持へ!

代理店 京城南大門通 新井藥房

西洋手品

松旭齋天勝出演記念として春の宴會に忽ち喝采を博すべき嶄新なる奇術集本紙愛讀者に限り無代贈呈在中往復で申込むべし東京麻布森本町九帝國奇術協會興行部

越後大評定

第百五十四席　早川貞水口演

小栗美作の陰謀

或ときし小栗美作、密かに豐岡仁兵衛を自分の屋敷に招き『さて豐岡、折入つて其方に頼みがある、外ではないが御養子三河守綱國を亡き者にさへすれば我子大六に家督を相續させる、是に依つて當時南の御屋敷御普請中、北の御屋敷に三河守が居るを幸ひ、汝の倅紋彌が御近侍役を勤めて居ることなれば、内より倅に締りを開けさせ、汝が表から忍び入り、人知れず三河守を刺殺してくれ、跡は予が引受け、其方の身分に難儀の掛らぬやう致す、決して心配するに及ばぬ、殊に三河守があつては、我子が越後家の相續人に成る譯にいかぬのだ、希うか三河守を亡きものにしてくれ』と折入つて頼まれましたが、殊に大恩を被せられて居るから、否と云ふことは言はれない、據ろなく其頼は承知いたしたやうに申し、我家へ立歸つて、一子紋彌を呼び『伜、只今小栗様の御屋敷へ召されて、斯く／＼の御頼み、今日親子が立身して、安樂に此日を送るも、偏に全く美作様の御恩、何分否む譯に參らず、據ろなく不忠ながら三河守殿を害し奉らんと思ふ、後の事は小栗様が宜きやうに御計らひ下さるに依て、決して親子に難儀は掛けぬと御

せらるゝ、就ては今宵丑三つを期して、庭口より忍び入るに依り、其方内より締りを開けてくれよ』と云ふと紋彌は父の顔を熟と見詰めて、ハラ／＼と涙を流し『紋、さて／＼情き父上の御芳志、三河守様は、假令御養子にても、越後家御相續遊ばしたる上からは、大切の御主人、その御主人を亡きものにして、己の倅を世に出さうと云ふ、左様な大悪人に頼まれ、三河守様を刺し、主殺しの大罪を犯すとは何事で御坐いますか、父上には、小栗一人の恩を知つて、主の大恩を御忘れになりましたか、斯る淺ましき御心は改められ、願はくば小栗の悪事を、重役衆に訴へ出で、大悪人小栗を捕へて押へ、下野守綱賢公の仇を報じ、悪人を滅し、御家を泰山の安きに置くは、是れ忠臣の務す所にして、武士の道かと存じます、父上とした事が、斯ばかりの事御分別が付きませぬか』と、今年十七年になる倅紋彌の意見に、父仁兵衛も我子の言ふ所、道理とは思へども今更小栗へ對し斷る譯にも往かず、面を怒らせ『仁、黙まれ／＼、道に違ふことゝは知りながら、喝と父の吩付に背くと云ふ不孝があるか小栗殿の御頼み一旦引受けた上からは、何處までも三河守を刺殺さなければ相成らぬ、汝が断つて意見をするに於ては、最早汝に頼むに及ばぬ、今宵の内、何とか致して北の御殿へ忍び入るの覺期、よも思ひ込んだる一念、欲ふされぬこともあるまい』と血相變へて立たんとする、其袖を捉へて、伜の紋彌『紋、父上暫く御待ち下さい、一旦御異見申し上げました、それ程までの御覺期とあれば、父に從ふは子たる者の道、宜しう御坐います、甚だ道ならぬ事で御坐いますが進退ならぬ世揚の仕義、父上、その御頼みに從ひませう』仁兵衛『そ れでは父の頼みを聽いて呉るか』

シンガポール產
美人印 白馬印 パインアップル
釜山 ピワコ屋（新荷著）

お聞きなさい

▲東京女髪結の收入　東京の去る奥様から女髪結の懐勘定といふを聞くに東京のお千代さん、お虎さんなどは平均三十錢の髪を五十結つて日に十五圓年五千四百圓の給料取りに相當する其外夜なべ仕事に他所の閾を跨げば三圓が通り相場で、相撲取の十錢は取るのだから其收入だけでも五下手な奏任官は追つ付かないところが其ればかりならまだしもだが、場所が場所だけに相手が相手だけに盆暮の心付けときたら大したものださうで之ればかりでもちよいとした財産が出來ようといふ景氣

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病
專門
永樂町二丁目 金光教會隣
安部醫院
電話一四九一番

▲英語の田所局長　文部省普通學務局長田所美治氏は今日でも尚ほ勉強を怠らず辭書を引く事はあつても床の中で感心な位盛に外國の書物を讀んで居るが氏の英語の先生と頼むは正則英語學校長の齋藤秀三郎氏で氏が十五、齋藤氏が二十一歳位から師弟の關係が出來て居たさうだ其れで今でも其の恩義を忘れず能く盡して居る過般齋藤氏へ叙勲の沙汰が下つたのも一つは同局長の斡旋に依ると云ふ話だ

三月十一日九星
舊二月八日丁未
本命五黄 八方塞 先負

▲五黄　眼の届かぬ事有り注意 新事見合南方は吉所願なし ▲六白　勝手よき日轉居入門 金件名弘家作求職婚禮先を見越たる商事等皆吉 ▲七赤　和親の日轉居旅行入門名弘求 職探 讀 金談結和定約業等皆吉 ▲八白　口出しの出來ぬ事多き日轉居行商 出 迹名弘求 職金借 婚禮入組の和 新事手控 萬事慶賀は妨なし ▲九紫　折合よき日新事手控 衛事は吉 ▲一白　見かけ倒しの事有り 新事控 衛事は吉買物に用心せらるべし ▲二黒　思はぬ閉口の事有り新事手控衛事は吉 又散財を防がるべし ▲三碧　捕へ所なき事有り 新事手控 事は吉紹介 ... ▲四緑　不調の日なれど新事を控へ ... 事は ... ば吉

子宮病血の道とヒステリーに惱む人は

彼れ是こと迷ふ無く
能く稀に効く新藥神療湯を試よ現に百方手を盡しも効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリーや、數年難治の子宮病の方々が神療湯の速服で漸次快癒し嬉しさの餘り懇篤なる禮狀（現在保存す一般の閲覧に供す）を送らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば試みに神療湯を雖症と雖症の論なく一試せよ神療湯は一家の秘方藥なるも今や全國各藥店にあり

本劑は せんき リウマチス 神經痛 と 子宮 血の道 ヒステリー 及 慢性胃腸病 効験顯著なり

神療湯

こんな徴候
腰、手、足、肩がつり、腰、腹、膝、股、肩の痛み、しびれ、又は筋張、痛みが彼處此處と移動し、何となく腹が張り、差込み、つかへ、溜飲、胸焼け、食進まず、又は下痢、便秘、又は逆上、血眼、耳鳴、頭痛、頭重く、肩凝、寒氣に腹に力なく、腰足冷え、夜眠られず、氣が滅入り、過敏ぶり、記憶あしく、物に感じ易く、氣鬱、手足の浮腫等、子宮の病、血の道より起る徴候に惱む人は片時も早く神療湯を試みよ

價　一週分 五十錢 十日分 六十五錢 二週分 一圓二十錢 一ケ月分 二圓四十錢

本舖 名古屋市東區京町二丁目
藥種問屋 荒川長太郎
電話 四千百廿七番 振替 名古屋三二一九番

腦病良藥
レーベン
田所博士を初め森、中田、内田…氏等十餘名の諸大家が効能を證明せらる…
退等の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容積と体裁を貪らず服用簡便極めて少くして効顯極めて大なり
藥價（三十錢・五十錢）（八十五錢・一圓六十錢）
東京銀座尾張町 中南定太郎 電話京三〇八番 振替東京七七七番
大阪安土町堺筋 中南定太郎 電話本三〇〇七番 振替大阪三四四番
信用ある藥店に有り無ければ直接注文を

クスリは ホシ
ホシ胃腸藥
定價 十錢 廿錢 五十錢 一圓
此外道盛四十餘種 各地藥店にあり

酒煙草 きらいになる藥
禁酒丸 禁煙液
どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券貳錢送れば說明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論進呈
本舖 大阪市南區 ... 通二 森田商店

M EP
名案大響 ヱビヤ
大阪府物町四丁目 杉田商店

輸入本舖クロパキン將軍厚禁止井包か諦
浦蒙處分論
定價金一圓 郵税 ...
京城日出代理部 振替 ...

世界の人氣は更に愈々
煉香油に集る ポマードに
本舖 東京 平尾銑也商店
關西代理店 大阪 平尾贊平支店

大正五年 國民年鑑

至廉至便の國民百科辭典

四六版壹千頁　並製五十錢　上製壹圓　郵税各十二錢　（民友社發行）

一千頁五十錢の圖書ありや

紙價の暴騰は印刷料の値上げとなり、遂に出版界は既刊書籍の二割増しを決議せり、されど國民年鑑は依然として壹千頁五十錢の安價を支持せんとす。抑も本書の各社會に歡迎せらるゝ主なる理由は、其の實益無比無盡藏なること、定價の至廉他に匹儔を見ざる點にあり。今や出版界は紙價の暴騰と印刷料の値上げを以て大恐慌に襲はれんとす。されど國民年鑑は暫く此の恐慌に影響さるゝことなく、普く各社會人士の註文に應ずべし。蓋し是本社が本書各種の原料を事前に仕入し置けるが爲に外ならず。今後若し本社貯藏の各種原料盡くるが如きことあらば、或は値上斷行の己むなきに至るやも計られず。値上の厄に逢はざる内至急御註文あらんことを切望す

大取次所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

再版　改訂增補
朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編著
朝鮮不動産登記 朝鮮商業登記 申請書式並心得
▲紙數四百八十頁 代價金壹圓郵税拾錢

本書中不動産登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動産登記法に依る申請書式、官公署の登記に關する囑託書式等併て百貳拾餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲て加之官通牒、登記に關する決議、實例等も申請人の參考と爲るべきものは擧て各書式の末尾に之を掲記し以て疑默を釋明し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得へき程度に之を編纂せり土地所有者、不動産上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所　京城大平通 振替京城三〇〇 京城日報社

何人でも一度御試飲あれば必ず……一生涯御常用になるは
美味滋養 蜂印香竄葡萄酒
の生命と眞價なり――！
凡そ常用者の忘るべからざる欣快は
毎朝の一杯は……精神を爽にし元氣を增す
毎晩の一杯は……疲勞を慰め睡眠を助く
斯くしてますく健康の人となる！！
東京日本橋本町 近藤利兵衛

尼崎汽船仁川出帆
○阪神行 大阪、神戶、下關、釜山、木浦、群山
秀吉丸 三月 日 午後四時出帆
大貞丸 月 日 午後四時出帆
神代丸 月 日 午後四時出帆
蛟龍丸 月 日 午後四時出帆
君が代丸 月 日 午後四時出帆
仁川港町五十九番地 電話五十九番 尚杉回漕部

全泉自動車發著時間表
金泉發 一番 二番 三番 下り
（時刻表）
織居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
三河丸 三月廿一日 正午出帆
相模丸 四月四日 正午出帆
○大連太沽行
寧波丸 三月十二日 正午出帆
仁川港町一丁目 堀回漕部

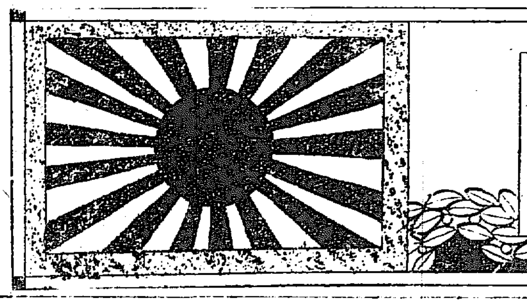
朝鮮郵船 出帆
金龍丸 三月廿三日 釜山發
京畿丸 三月十三日 釜山發
咸鏡丸 三月廿七日 釜山發
城津丸 三月十四日 元山發
昌平丸 三月十二日 元山發
鏡城丸 三月十八日 元山發
忠清丸 四月十二日 元山發
平壤丸 三月二十日 元山發
水興丸 毎月廿八日 元山發
京畿丸 三月十四日 釜山發
漢陽丸 每日 釜山發
江陵丸 （浦項）
三浦丸 三月十一日 釜山發
京城南大門通 松原運送店

慶興丸 三月十七日 木浦發
瑞天丸 毎日 木浦發
海州丸 毎 釜山發
統營丸 鏡島丸 三月十二日 釜山發
公州丸 三月十二日 木浦發
公州丸 三月十四日 木浦發
宗信丸 三月十九日 仁川發
江原丸 三月十七日 仁川發
清水丸 三月十八日 仁川發
普州丸 三月十三日 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸
平安丸 三月十四日 群山發 三月十八日 若松發

仁川 共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行
共同丸 月 日 午後二時出帆
鎮海丸 月 日 午前九時出帆
城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
鶴丸 月 日 午後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行
月 日 午前八時出帆
元山出帆 阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目 電話一〇八番 仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 河口回漕部
京城取次店 南大門通 河村運送店

（明治卅九年九月十日第三種郵便物認可）　午中無休刊（日曜祭日の翌日休刊）

第三版



陸軍記念日

大日本主義

三月十日陸軍記念日に際して、吾人は茲に一言の禁ずべからざるものあり。今日の世界大活劇は、抑も何の日に其終局を告げむとする乎。而して此戰爭の結果は、世界の國際政局に如何なる變化を與ふべきか。列國勢力の消長如何は、必ずや他日東亞に於ける國際均衡に影響を及ぼし、我帝國は到底之が利害關係を避けんと欲するも能はざる境遇に居るを思はゞ、現在の歐洲動亂は決して對岸の火災に非ずして、之に備ふるの計策は豫め確定する所なくんばある可らず。

平和は何人も望む所なれども、國家に發展膨脹的慾望の存する以上は、利害の衝突は免れ難く、戰爭も亦已むを得ざることあり。戰爭は一大浪費にして、國家の經濟的活動は之が爲めに存せずと雖も、大膽自由なる發言は、權力なくして權威を有し能はざる也。

若し國家が列强の間に伍して其存立を確保し、更に進んで其の發展を期せむとせば、少くとも軍國主義は必要なる政策の一たり。然れども吾人は此主義を以て、彼の本能の暴力的發揮、國際道德の蹂躙、條約の破棄と云ふ如き蠻行の武器たらしめんとするに非ず。吾人は世界平和の攪亂者に非ざれば也。但だ平和は勢力に依て維持せられ、國威は勢力に依て保持し得べきが故に、富國强兵は帝國の存立上牢固動かす可らざる鐵則たり。

歐洲の戰亂戢まりて國際政局に變化を來すの時我帝國の立場は恐らく今日と狀態を異にするものあらむ。吾人は如何なる時と雖も旅烏たるの用意を遺る可らず。若し他と提携するの必要あらば、實質的に同等の立場に於て之を爲すべし。帝國が常に東洋の霸者たらんとせば、其れ丈けの權力を備へざる可らず。國力を充實して民力を統一し、平時に於ても緩急に處するの準備を整へ、國家經營の大目的を決定して之に向つて邁進し、文事あり武備あり、以て大日本主義の貫徹に努力せずして可ならむや。吾人は此機會に於て最も擧國一致の必要を叫ばざるを得ざる也

軍國主義と軍事思想
擧國一致の眞精神
駐劄軍司令官　井口陸軍中將談

□軍國主義と擧國一致

我輩の竊かに遺憾に堪へないで居る事は軍國主義に對する世人の誤解である世人動もすれば軍國主義を武斷政治と混同して居る誤れるも甚だしいことである軍國主義は決して武斷政治そのものではない我輩の解釋によれば軍國主義の要諦は擧國一致にありと爲す而して擧國一致は決して戰時のみに限らず更に軍國主義は軍人のみの主義では無い軍國主義は國民全體の主義であり擧國一致は其重要な件であらねばならぬ軍國主義の可否と云ふ如き問題に就ては今現に歐洲に於て無二の最適例が示されてゐる事を以て盡きる今次歐洲の大戰爭は見樣に依つては軍國主義と個人主義との爭鬪であるとも言へる即ち獨の軍國主義と英の個人主義との大格鬪である軍國主義に就き如何なる見解を有する論者と雖も現在戰場に於ては各方面共優位の常に獨軍にある事を認めざるを得ないであらう

□擧國一致の精神意義

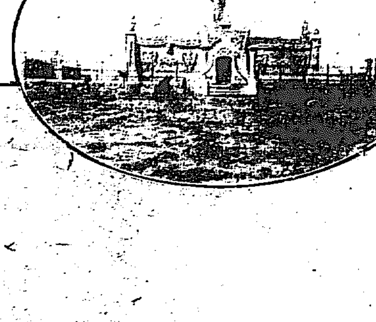
顧つて日本の現狀は奈何？宿年の計畫であつた二箇師團增設が昨年議會通過迄の經過には茲に嗅する迄もなく頗る心外に堪へぬものがあつた國民の選良たるべき議員ですら軍國主義、擧國一致に關して皆目智識を有せず更に主義方針あるものは無いと云ふ有樣である況んや一般國民に於いてをや我輩は此の點を深く遺憾に思う、即ちは（一）國民が擧國一致を戰時のみと心得居る事（二）國民が軍事智識に乏しき事である、日本國民が外敵に對して直に熱狂的に擧國一致する事は從來數回の戰役に際して認める事が出來るが平時に於ては更に其風が無い一例を對外商業に引かんに對支貿易其他の貿易にしても日本商人は日本商人で團結して外商に當らうとはせず互に內輪で競爭排斥して居る其結果遂には外商に漁夫の利を占められる事となる憾の如き例は各方面に認め得る事である是を彼の獨逸の軍事、外交、商業、工業等あらゆる方面に於ける眞に擧國一致した遣り方に比すれば誠に霄壤の差たらぬ

□智識階級の軍事的智識

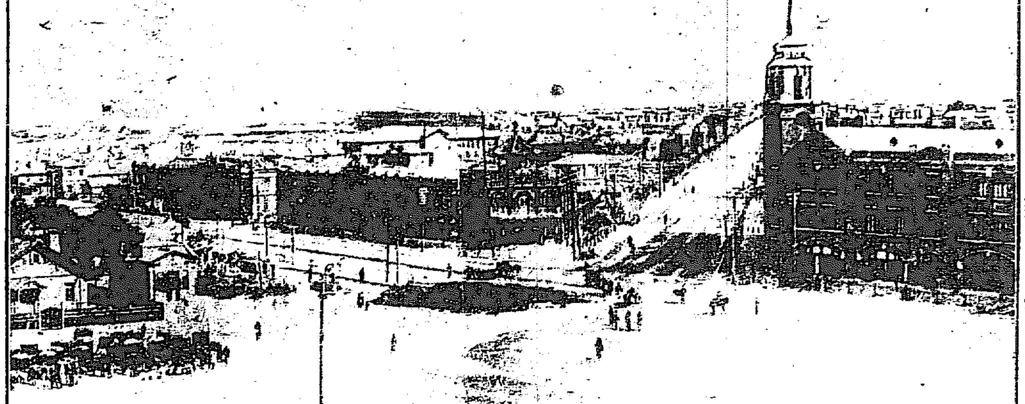
現に我が帝國の武備は名實共に世界の一等國である我が實力の程度は全世界中よく充分に之に及び得るものは無いと斷言しても憚らない處である其堂々たる大軍備を維持する爲めに政府は每年七千萬圓と言へば丁度我が國民が一人一圓宛を負擔してゐる事になる此不碌ならざる負擔を荷負はされてゐる國民の選良が此大負擔を負ふか負ぬかの論議に對して更に權威ある主義も抱負もなく唯徒らに附和して可否を決すると云ふが如きは甚だ頼もしからぬ事であると言はねばならぬ此不定見の因由する原因諸多あるであらうが軍事的智識の缺乏と云ふ事が與つて大に禍を爲してゐると認められる軍事的智識の缺乏？是は實に日本國民の須臾も忽諸に附すべからざる緊要事だと思ふ

□陸軍記念日と吾人の用意

比較的智識階級にしても然り、他は槪ね推して知るべしで今や軍事智識の缺乏は日本國民の通弊と化し去らうとしてゐる然も是れをしも成るがまゝに放棄して置かば由々しき大事となり寒心に堪へぬ結果となるであらう我輩は常に之を思ひ之を憂ひて機會ある每に一般國民に軍事智識を與へる事に心を配つてゐる三月十日は我陸軍の記念日である此記念すべき一日を徒らに飲食を以てのみ祝賀せず多少にても我輩の素志に添ひ得る樣にと多少の考慮を費やし當日は戰鬪演習、高等馬術、銃劍術集合試合等を擧行して一般公衆、各種學校生徒の縱覽に供し更に官民を招待して祝典を行ふにも右擧行物の觀覽のみならず祝典場內には現用兵器及び軍需品の一部を陳列して多少にても軍事的智識を與へ得る資に供した所以である幸に風雨の天災なく豫定の變更等の無い事を希望して止まぬ次第である



（上）奉天大會戰忠魂塔



（下）日本人新市街

◈◈ビール界の大福音◈◈

謹告

四方各位益々御多祥の段奉慶賀候……扨本年はサツポロ、アサヒ、ヱビス三會社合同後滿十週年に相當致し來る三月廿六日を以て光榮ある記念の日を迎へ可申候此間當社製品の販路は年と共に擴大致し社務日增に隆昌に相向候段一に各位御同情の賜と難有御禮申上候就ては此際興味ある景品付賣出擧行仕り祝賀旁々些か平素の御眷顧に相酬度候間何卒益々御愛顧御引立之程伏て奉願上候……

京城南大門通り三丁目百六番地
大日本麥酒株式會社京城出張所

景品目錄

一等	米國ウオルサム會社製片側金時計（十八金）	壹個	金八十圓	拾本	金八百圓
二等	勸業債券	五枚	金五十圓	拾本	金五百圓
三等	瑞西タバーン會社製片側銀時計	壹個	金廿五圓	廿本	金五百圓
四等	勸業債券	壹枚	額面金十圓	百本	金一千圓
五等	三越呉服店商品切手	壹枚	金五圓	百五拾本	金七百五十圓
六等	瓦斯裏地	壹反	金一圓	千本	金一千圓
七等	モスリン風呂敷	壹枚	金五十錢	貳千本	金一千圓
八等	タオル	壹筋	金十錢	六千本	金六百圓
九等	手拭壹筋又は郵便切手參錢貳枚		金六錢	七千七百拾本	金四百六十二圓六十錢

合計壹萬七千點　總額六千六百十二圓六十錢

一當籤の發表　當籤番號は七月三日發行の京城日報及朝鮮新聞を以て發表す
一景品の引換　當籤各位は當社京城出張所に於て抽籤券引換に景品御渡し可申候
一景品引換期限　七月三日より八月三十一日迄とす

□空籤壹本もなし□

▲景品付區域……朝鮮全道及安東縣
▲景品付箱數……壹萬七千箱限り
▲景品付期間……大正五年三月十日〆同年五月卅一日迄
但し期間中と雖も賣出箱數に到達したるときは〆切とす
▲抽籤券……サツポロビール又はアサヒビール大瓶四打入又は小瓶八打入一箱御買求めの方に景品抽籤券一枚を呈す……
▲抽籤方法……來る七月一日午前十時より京城商業會議所に於て京仁當社特約店主並に京城日報朝鮮新聞記者各一名立會を乞ひ最も公明正大なる方法に依り之れを執行す……

◎事理に暗き帝政派

態度一變帝政斷行を企つ=日本の態度を輕視す=資金調達の目算

支那帝政派首領梁士詒、孫毓筠、朱啓鈐等は内外の形勢日々に非なるを見て帝政を取消すの止むを得ざるを認め袁總統に罪を乞はんとし意氣銷沈の態なりしが二三日前より態度一變し飽く迄帝政を斷行せんと企て雲貴の討伐は時期の問題にして憂ふるに足らず最も寒心に堪へざるは外交方面なるが是とても案外與し易く但日本の輿論は頗る強硬なるも其の實政府の方針は何等確定せる所なしとの消息を得たると同時に或る外國より資金を得可き見込み立ちたるより外交の難局には自ら進んで之に當るべしとの意氣込にて大活動を開始したりと(東京特電)

◎獨罪を英國に嫁す

米國々務卿ランシング氏は更に獨逸よりの通牒に接したるが同通牒は言辭巧妙獨逸が潛航艇戰に於て國際條約を遵守せざるの罪を英國に嫁せんとするにありと(華盛頓電報)

◎獨人選擧權剝奪

シドニー來電に據れば濠洲内閣は獨逸生れの公民より戰時中總選擧權を剝奪する事に決定せり(紐育電報)

◎海軍論功行賞

日獨戰役に出征したる對馬、春日、音羽、新高、平戸、須磨各艦隊乘組員二千八百十八名の論功行賞は九日發表ありたり其主なる者左の如し(東京特電)

海軍中將從四位勳二等功三級 財部彪
叙勳一等授瑞寶章(一時金千七百圓)
海軍中將從四位勳二等功三級 土屋光金
授旭日重光章(一時金二千九百圓)

◎陸軍論功行賞

第十五師團步兵第二十九旅團管下步兵第三十四、第六十七の兩聯隊將卒六千七百五十八名の論功行賞は九日發表ありたり其の主なる者左の如し(東京特電)

陸軍步兵大佐從五位勳三等功四級 高町鋭
叙功三級授金鵄勳章旭日中綬章
陸軍步兵大尉正六位勳四等功四級 增田民之助
叙功三級授金鵄勳章旭日小綬章(各通)

◎經理部長會議

全國各師團經理部長及び朝鮮總督府、關東都督府、臺灣守備隊、支那駐屯軍經理部長會議は九日午前九時三十分より陸軍省に於て開會し大島次官隈經理局長の訓示あり經理各項目を協議して散會したり(東京特電)

◎寺内總督弔電

全羅北道長官李斗璜氏卒去の報其筋に達するや寺内總督は直ちに懇篤なる弔電を發せり

▲政務總監弔電 李全北道長官の卒去に對し山縣政務總監は取敢ず電報を以て弔意を致せり

◎叙州陷落詳報

[illegible]中隊長李正邦 武官は九日午後七時著釜連絡船弘濟[illegible](釜山特電)

▲李道長官葬儀 故全羅北道長官李斗璜氏の葬儀は十三日午後二時任地全羅北道全州に於て佛式に依り執行せらるゝこととなれり

◎極東漁業と外人

露國の極東漁業に外國人の使用特許に關しては其當時報道する所ありしが倘聞くに本年度に於ける「ニコライエツスク」港附近より黑龍江の上流沿岸「ハバロフスク」市附近に至る間及び本州と薩哈連島との間韃靼海峽並に同島及び本州沿岸河川附近の鮭鱒漁業區貸下は來る五月廿九日「ニコライエツスク」港に於て口頭競爭に依り之を執行する旨沿黑龍總督府は發表せり之と同時に右漁業に對しては外國臣民は勿論歸化せる露國臣民と雖も黃色人は一切之を使用す可からざるを本旨とするは前年度と異ならざるも大戰の爲め勞力不足に付本年度(千九百十六年)漁期に限り特に外國人勞働者を所要數の五割迄黃色人又は歸化露國臣民は所要數の全部を使用する旨を特許せり因に漁區貸下に付ては黃色人にあらざる露國臣民に限定せり

◎鮮鐵荷動狀況

二月下旬の荷動狀況を見るに發送噸數四萬二千百六十四噸收入十萬八千二百○五圓にして之を前年(本年は閏年にして日數廿九日也依て比較上前年は廿八日間に其平均一日分を加算したる者を以てせり以下倣之)に比較するときは噸數にて三割六分の增加に當り出荷の主なるものは石炭の七千六百十噸を第一とし米の千八百九十六噸之に亞ぎ鹽四千六百五十八噸、氷二千八百二十九噸、木材一千七百七十六噸、大豆一千三百九十六噸、雜穀一千二百六十四噸、鐵石八百四十四噸、明太魚五百八十七噸、木炭五百七十二噸、鮮魚四百九十七噸にして前年同期に比し增加したるものは氷二千八百二十九噸、鹽一千九百八十六噸、石炭一千六百四十噸、礦石七百四十六噸、大豆四百四十四噸、雜穀三百四十九噸、木材二百三十七噸、葉煙二百二十七噸にして減少したるものは米七百三十一噸、鮮魚二百四噸にして米、鮮魚を除き他は總て增加を示し荷動好況を呈せり次に主要貨物の出荷狀況を記せんに

▲氷● 前年同期の出荷皆無なるに比し實に二千八百二十九噸の激增を示せるは既に報せし如く本年の暖氣の爲め京城外各地方の品捕底を補はんとて鐵道局が運賃半減の大割引を斷行したる爲にして新義州發千七百九十四噸、黃州發十四噸あり其仕向地は京城千八百四十六噸を最多とし大邱、鳥致院の二百八噸之に次ぎ裡里の百三十噸、仁川百四噸等を主なるものとす

▲鹽● 引續き出荷好況にして前年同期に比し千九百八十六噸の增加を示し昨今需要季節に入り逐日出荷漸增の傾向あり之が發驛數量を擧ぐれば仁川發千八百六十五噸第一位を占め鎭南浦發九百五十噸を第二位とし釜山發二百五十噸、群山發二百四十五噸、朱安發二十六噸之に亞ぐ原鹽と再製鹽とに區別せば原鹽六百九十七噸(二割)再製鹽二千六百四十六噸(八割)の割合なり

▲礦石● 前年に比し七百四十六噸を增加せり前年に於ては本品輸送の見るべきものなかりしが本年は价川鐵鑛、石及び久原精鍊所に集合せらるゝ金鑛石の輸送盛況にして鐵鑛石は日々七十八噸金鑛石は一日平均二十五噸を算し其他仁川發草梁着二十一噸(岡山縣大島藤田組精鍊所行)の出荷をも見たり

▲米● は前旬來辛く一日二三百噸を維持する狀態にして荷動き頗る不振なりしが本旬に入り稍回復の兆を示し一日平均五百四十四噸を算せり然れども之を前年に比較するときは七百三十一噸の減退を見たり一面米價は依然として軟弱を唱ふるより今後の出荷は必ずしも樂觀を許さず

▲石炭、大豆、穀類等● は其々出荷好況にして前年に比し增加を示せり

要之本旬の貨物輸送は追々舊正月を經過するに從ひ一般商況頗に活況を呈し穀類、氷、鹽、石炭、礦石、木材等主要貨物の荷動き概して好況にして米、鮮魚を除きては何れも前年に比し多少の進境を示したり

◎仁川産業界

▲最近仁川の精米工業は阪地の荷停滯による相場不味の爲め頗る不振にして新規注文の入電なき折柄とて精搗手控へ若くば休止の狀態なり染工場も依然原料高に不引合生産中止の有樣にて注文にも制限付販賣をなし實際を見せるに過ぎず再製鹽業は二月迄は時季にあらざりし事とて生産中止の姿なりしが三月に入り追々春期需要期に入りたる事迚就業し始めたるも相場は依然手堅く引締り百斤一圓十五錢見當を唱へたり二月中新義州より大阪へ輸送せられし雲山金塊は二十八萬三千四百餘圓遂安金塊は十六萬六千二百餘圓にして前月と對比し雲山は九百餘圓遂安は二萬千八百餘圓增加せり水産業は一年中の最も不漁時季に在りたることゝて仁川水産會社が水揚高も極めて僅少に止まれり即ち本月中の水揚高は六千百三十六圓にして前月に比し一千八百餘圓の減少なりき

◎改良海苔有望

全羅南道莞島郡に於ける東京式改良海苔製造は愈々有望にして助藥島の海苔みにて去る二月二十七日までに製造したる高は百七十一萬枚に達し最近に及んでは優に二百萬枚を超過する趨勢を呈し何人も像想せざりし進步を遂げしが此の以上附近平日島等に生産を行はんか全南の海苔産額は光陽、長興を合して東京に亞ぐ大製産地たるべく某專門家の談に依れば三年中には此が製産額は莞島郡のみにても優に九萬圓に達せしむること容易なるべしと(光州)

◎骨粉會社如何

平壤の新事業計畫

平安南道廳の斡旋と勸說により最近平壤有力者の間に問題となれる牛骨々粉並に細工品の製造事業計畫に付某有力者の談を聞くに大體に於て

▲該事業は有利なりとの見込み附き道廳より相談を受けし實業家は極めて眞面目に調査し苦慮しつゝあり何分目下の案は先づ資本金十萬圓の一會社とし其の四分の一乃ち二萬五千圓の拂込みを運轉資金とし以て事業を經營せんとするものにて原料たる牛骨の買收區域は平南を中心とし平北、黃海は其の一部に留めて十分なるべし而して其製作に成る工器は少額に付姑らく措き骨粉の販路は無論鮮内を好市場としたきも現下鮮島の農狀態は高價なる骨粉肥料を多量に要する時機に到達せざるを以て製品の大部は之れを内地に移出し

▲拇國品と競爭 を重ねざる可からざるべし斯く原料の買入れ製造の費用並に送荷運賃を要し倍て如何なる計算の出で來るべきか道廳の調査に成る計畫書の骨粉賣價及び諸費用計算は妥當と思はるゝも牛骨の評價は最近騰貴せる現況より見て安きに失する嫌ひある如し勞々實業家側は道廳に對し製業費補助年額七百圓と云ふ條件を相當增額されたき希望を有し居れり之れ實業家側に於て一割以上の利益を欲する爲めならんも兎に角今日の所未だ具體的には資本家の相談纏まり居らざるも目下極めて安價に原料として内地に送りつゝある牛骨を平壤に於て加工精製せんとする希望は内地人工業界の新企畫は皆人其の成立を衷心より希望して止まず(平壤)

□清津港(六)

四、金融と商況

淸津駐在露國副領事アー、トロイツキー氏の談に、浦鹽は目下七百萬留の巨資を投じたる大築港工事に著手し、之れに要する石材の殆んど全部は遠く北海の函館より船便を以て取り寄せ居れり、然るに僅々百二十海里を隔てたる淸津港の附近には築港用の良石材に乏しからず、何故に日本人は之れを採取して浦鹽に輸出せざるや、又數年前當領事館の新築工事を爲すに當り、其用材を淸津の材木商に依て求めんとしたるに價額の折合附かず遂に内地より輸入し來る方尙且つ安價となれる實例もあり是亦奇異の感なき能はず、之れを當業者に就て聞けば金利の高きためなりと云ふ、と以上の談に依り實業家の意見を徵するに事實に於て北鮮地方就中淸津地方の金利は稍高きに失するの感なくんばあらず、金融の機關としては成鏡農工銀行支店の一あるのみにして、一般商工業者に對する資金の融通をなし、稅關支署亦保稅倉庫を設け、預證券を發行し、銀行は之れを擔保として貸出を開始したるに、近來商勢の發達と、淸津港貿易の殷賑に隨伴し、自然取引額の增加を來し、商人と銀行との關係密接となり、金融界も亦順調に進まんとしつゝあり、然るに日進月步の淸津港にして、只一の農銀支店を以てしては、今後鐵道の開通と共に國境、沿岸、對外の各貿易頻繁にもなるらば、到底商人の滿足なる資金を得ること難かるべしとなし、個人間の請會、質商以外に鮮銀或は商銀等の支店開設を要望する者甚だ多き模樣なり。商況は同府に在住する内地人實業家中に、相當の異議あり、實力ある者多きと、加ふるに支那又は露領に境を接し居れるためか、實業家の氣風に於ても餘程他と趣を異にし連日の新聞紙に現るゝ國際的記事或は經濟上の調査に就ては、常に注意を怠らざる程に眞面目にして國際的の觀念に厚し、地勢上船舶を利用して浦鹽方面への外國貿易を爲すもの、北鮮沿岸貿易を行ふ者、奧地國境地方との取引を開ける者等の別はあれど大部分は貿易商か、然らざれば間接之れに依て衣食をなすものにして最近調査の内地人口數三千餘人の職業別中に於ては、商業の五百餘名主位を占め居れり、近來諸般の景氣極めて良好、市街には活氣橫溢せり

◎臺博運賃割引

來る四月十日より五月九日迄開催の臺灣共進會觀覽者の爲め今回汽車汽船共左の割引を爲すに決定したり

▲鐵道院 百哩未滿二割五分百哩以上三割五分▲鐵道局 主要驛より通用期間六十日二割引▲日本郵船 大阪商船 南洋 ▲東洋汽船 三社は出品關係人に對し五割引にして個人の觀覽者に對しては日本郵船大阪商船共三割引團體二十人以上五割引

◎遂安楠亭金鑛

黃海道遂安楠亭金鑛にては從來採掘しつゝある劣洞の外楠亭金鑛を發見し將來は主力を新鑛に注ぐ計畫の下に昨秋來東洋金鑛界に類ひなき最新式製煉機其他の機械設備を急ぎつゝありしが新鋭の機械を英國より引きたる爲め各部の調度等に異狀あり未だ全力を製煉に擧ぐる能はざるも楠亭金鑛も産金額を增加し一二月の如き地金六七貫目を鮮銀支店に廻送せりと(平壤)

◎新木浦署長出發

木浦警察署長に新任せる警視林和一氏は十一日午前八時三十分南大門發同日光州道警務部の指示を受け同日若くは十三日木浦に赴任すべし

◎阿部社長歸京

阿部本社々長は東上中の處九日午後九時南大門驛著列車にて歸京したり

人事消息

▲野津鎭次郎氏(鎭江商會主) 商用にて平壤地方旅行中の所八日朝歸京
▲小林富太郎氏(平北警務部勤務警部) 九日夜南大門驛發赴任
▲淺田賢介氏(新任京城覆審法院部長) 十一日午後八時五十分大邱より入京の筈
▲鈴木伍三郎氏(新任釜山地方法院長) 十一日午前八時半南大門驛發赴任の筈
▲賀田金三郎氏(韓賓業) 九日夕入京(朝鮮ホテル)へ
▲ウイゲント氏(米國貿易家) 同上
▲バーボイド氏(米國實業家) 同上
▲ゲストランド氏(佛國鑛山業) 同上

◎北鮮より

▲防穀令の影響 一月二十日吉林省防穀令發布に依り間島產粟及び高粱の朝鮮搬入を禁せられて以來尙ほ未だ豆滿江に沿へる朝鮮側に於ける食穀缺乏時期に入らざるを以て何等影響を認むべきものなく時に在間島鮮人が日常の小使錢を得ん爲め自家の牛馬に駄載し江を渡り鮮地に入らんとして支那官憲の爲め防穀令違犯の取締を受くるものを出しつゝあるに過ぎざれども時日の進むに從ひて間島產業穀の朝鮮輸入不可能は間島に近接せる茂山會寧穩城慶源の各郡居住者に執りては尠からざる打擊となるべく[illegible]附近の如きは昨年中食穀として約四萬圓の粟高粱を間島より購入し之れに次で鏡城穩城慶源等皆四五千圓宛の輸入額を示せるが本年は同地方一帶に昨年二回の洪水に依りて作物收穫の蓄積は著しく減殺せられ居れば食穀の需要は前年に比し倍するものあるべく之を最も近接せる間島に求むること能はずとせば自ら淸津方面に回送せらるゝ滿洲粟及び米穀に依らざるべからざることゝなるべく斯くては從來の間島粟に比し甚しき高價となり同地方一帶の居住民は昨年に於て被れる天災の打擊を愈々重からしむるものと云ふべし而して例年食穀缺乏の時期は四五月より始まるを常とすれば早晩防穀令非難の聲を聞くに至るべし

▲天寶山採鑛準備 客年來大興合名會社の出資にて組織せられたる滿蒙採掘會社が採掘に著手せる天寶山銀銅鑛は爾來八九名の内地人現場に滯在して著手準備に鞅掌しつゝあれども十數年來拋棄されたる舊坑道の頽廢甚しく去りとて新たに坑道を掘鑿するとせば多大の出費を要するを以て矢張舊坑道を迴るの外なく今回内地より鑿岩器等を回送し來り一方解氷と同時に舊坑の浚渫を準備中なるが尙ほ支那官憲との交涉に多少不備の點あるやにて同山には支那巡警數名滯在し封鎖當時の警戒を解かざる由因に同會社は同山採礦資金として五十萬圓を投ずる豫定なりと

▲北鮮一般の市況 結氷三四箇月の休業は一般に金融逼迫なりし爲め殊に舊正月後の閑散期となれる北鮮一帶の市況は目下極めて沈靜の裡に在り一時出廻り旺盛なりし間島小豆白豆等も客月中旬より全然絶へ鮮内大豆も仕向先相場格安の爲め捗々しき出廻りなく未だ例年の半額に至らず幾分期待されたる海岸地方の產物も開き鯖其他の既製品は一月中に輸出濟みとなりて以來明太魚は未だ輸出する程の製品を出すの時期に至らず地方在額意外に多かるべしと豫想されつゝある露紙幣は沿海州漁區の入札鯖の買入資金としての需要期切迫に依り次第に昂騰し先月初旬一留五十錢相場より今日にては六十錢臺を唱ふるに至りたるも何れも出し澁り深く藏されて市場に姿を現はさず、工事界は鐵道隧道工事の數箇所の繼續施工されつゝあるのみにて北鮮の天地は目下何れに向つても閑散の聲を聞かざるなく遺憾なく結氷期の寂寥を現はし居れり

本日朝刊 附錄共十二頁

▲訂正 八日朝刊二面鴨綠江の天氷中二段目一行二萬四千五百云々は四千五百云々、五行六千二百零云々は六萬二千零云々の誤

有し内地人は九千五百七十八人にして所有數[illegible]員は二千九百六十五人なり而して前年に比較するに多額納稅者[illegible]

青山學院 生徒募集 東京青山
東京入學試驗 四月六日 午前八時
○高等學部 ▼人文科 ▼英語師範科 ▼商業科 右各科共新入生若干名、本科第一學年若干名募集
○中學部 第一學年百五十名募集 ●規則書は郵券二錢を要す

新刊 早稻田大學教授 雜誌新日本主筆 永井柳太郎先生著
野聲 價七十五錢 送料八錢
建部博士著 新興國の青年 價一圓五十錢 送料八錢
發行所 東京本郷千駄木町 振替三〇三〇番 莫哀社 京城本町二 振二五七三 大阪屋號

銀行會社 官吏鐵道 員養成 講義錄
速成四ヶ月卒業 會費八拾錢 規則進呈 東京芝公園 大日本國民通信學校

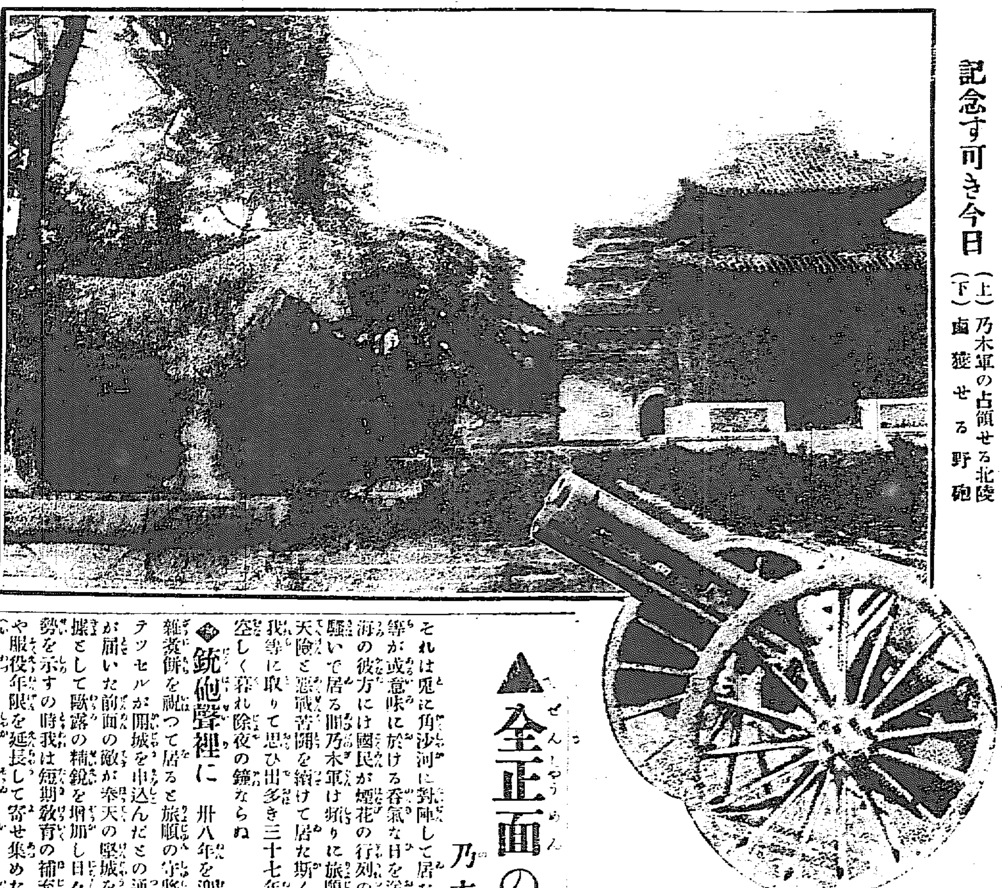
諸君は安樂幸福なる生活を送るを希望せらるゝならば一合の酒若くは一包の敷島を節して左の書を讀むべし
山縣五十雄 村上唯吉 共著
富の道しるべ 四六版八十六頁 定價拾五錢 郵稅二錢
徒手空拳一朝にして巨萬の富を致すが如きは常人の企つべきに非ず、天才に非ずんば能くせざる所にして著者も亦之を說くの資格あるなし。然れども富とは畢竟物足りて人給し、現在を樂み未來を憂ふるなきを要せざる狀態をいふ。此幸福は如何なる人と雖も平常の用意と處世法の宜しきとに由り、之を獲得するを得べし。此書の說く所は即ちこれ也、文は平易通俗にして、事例は趣味頗る多し。
▲賣捌 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

種苗
蔬菜、草花、朝顏種子、球根、ダリヤ、菊苗、ばら苗、苗木、其他各種詳細なる春季目錄往復(はがき)にて御申越次第無代進呈す
京都市七條通大宮西入 各國種苗問屋 田中種苗園

新天地 一部十五錢 二ヶ年一圓八十錢 發行所 京城府花園町 新天地社

成裝せる三月號出づ
□歐洲戰爭の實教訓……志賀重昂
□總督政治の批評……山道代議士
□夫婦喧嘩の心理……法學士
社說……森社長 目賀田男爵 月旦
□朝鮮林業の將來……岡本山林局長
□戀愛通信……寶山生
□心中ロマンス
□內蒙古の經濟調査……松尾技師
□英佛獨に於ける殖民學校……永野法學士
□京城紳士の遊振
□自覺したる女
□雲井龍雄……桃井無林
□京城藝者氣質
仁川附錄 ▼グレート仁川の出現期 ▼東洋最新式の仁川港 ▼仁川商業會議所の色彩 ▼仁川決して不景氣に非ず ▼仁川名物の模範的消防隊 ▼仁川花柳界公開狀 ▼警昌記
寫眞版 饒多

發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible] 發行所 京城大平通一丁目 京城日報社



記念す可き今日 (上)乃木軍の占領せる北陵 (下)鹵獲せる野砲

捷てり！光榮ある勝利よ!!

十一年前の今日—在郷軍人の感懐

皇帝の命に嚮まされ本國の輿論に推されて珍らしくも攻勢を取つて來た敵を逆擊又逆擊渾河の右岸に追ひつめた時は遂に勇猛な我が軍も疲勞と彈藥の缺乏とに餘儀なく馬を止め銃を立てた敵も之に對して陣を布き爾來兩軍は各其の占領せる地區の防備を固めつ睨み合ひを續けた之が有名なる沙河の對陣である

▲鹿柴、狼穽、鐵條網、塹壕

凛冽たる寒氣に凍結した石を切る樣な土も兵士の十字鍬に五尺餘りも掘り下げられ其の前には鹿柴、狼穽、鐵條網と有らゆる副防禦物が備かれ半永久的の築城が成つて後は

◆互に防禦の姿勢に陷つた たゞ此等防禦陣地も敵が智慧袋の底を敲き必死の努力を費やして堅めに固め第二第三陣地までも構成した用意の周到なる驚く許りであつたが引替へ我が軍に於ては只一線而かも其の築城に比べては極て簡單なもので有た畢竟敵は防禦の目的を有して

◆我は常に攻撃を以て唯一の戰鬪方法と考へ何時かは突いて出ようと言ふ頭があつたからであつて此れは日露戰爭を通じて一貫した我軍の精神で戰勝の主なる原因は即ち此にあつたのである今歐洲に於ける西部戰場の情況を聞くに彼我共に

◆永久的築城法に依つて陣地は二層三層に設けられ殆んど野戰の性質を脱して要塞戰の形に移り共に敵陣奪取の精神橫溢たるものあるも而かも互に其の一陣をも突破する事は到底不可能の狀態にありとされば彼我の軍は何れの方面より如何なる方法を以て敵軍を屈服せしむるの擧に出づるであらうか一時其の向背に依りて

◆兩軍の勝敗は決せらるべしとせられた伊太利が豫備隊の增援程の効果をも與へなかつたに見ても歐洲に於ける殘んの中立國が何れの一方に双肌脱げば逆其で兩軍を勝敗とに區別し得べしとは思はれぬ

▲全正面の砲擊開始 乃木將軍の大迂廻運動

それは兎に角沙河に對陣して居た私等が或意味に於ける呑氣な日を送り海の彼方には國民が煙花の行列のと騷いで居る間乃木軍は頻りに旅順の天險と惡戰苦鬪を續けて居た斯くて我等に取りて思ひ出多き三十七年も空しく暮れ除夜の鐘ならぬ

◆銃砲聲裡に 卅八年を迎へ雜煮餅を祝つて居ると旅順の守將ステッセルが開城を申込んだとの通報が屆いた前面の敵が奉天の堅城を根據として歐露の精銳を增加し日々優勢を示すの時我は短期教育の補充兵や服役年限を延長して寄せ集めた老兵に僅かに沙河の創痍を癒やし所謂攻擊精神も淡い憂慮の影が翳し

◆首を翹げて 乃木軍の來援を待つて居た際此の吉報を得た沙河軍は甦つた樣に活氣を呈し萬歲の聲は冬枯の空に新らしい響きを傳へた乃木軍が旅順を片付けて沙河軍に合すべく強行軍をなし其將に到着せんとする二月廿七日大山總司令官は我が

◆企圖を隱蔽 せんが爲に全正面に砲擊を命じた私等の前面を守備せる敵が不意の砲擊に慌いてあはてふためく折しもあれ第六師團方面より放てる野戰には珍らしい二十八珊の巨彈轟然として敵壘の一角に爆裂し砂塵渦を卷く其の壯絕さ私は思はず掩堡の上に驅け上つて暫し其の光景に見とれて居た

▲余は包圍されたり 一語簡なれども無限の痛恨

右翼軍司令官川村大將は大山總司令官の命を受け敵の左翼に向ひ緻密にして大膽なる攻擊を實施し敵に莫大の損害を與へ三日の後には清河城を陷れ續いて猛烈なる追擊を行ひ一方ならず敵の膽を寒からしめた敵の守將は頻りに

黑鳩公に增援隊を請求する黑鳩公は思へらく日本兵は山地戰に長せり而かも旅順に多大の實驗を經たる乃木軍が今又山を負へる我が左翼を攻めつるか、と終の間乃木軍は微弱なる敵を壓迫しつゝ總豫備隊の大部を此方面に逆つた此の最初は殆んど無人の境を行くが如く我が左翼に連繫して奉天の西南に現れ終に敵の本陣地に到着此處にも

猛烈なる攻擊が行はれたとは言へ敵も只の猫ではない忽ち逆襲に轉じて奮戰大に努め遂に乃木軍を頗る手古摺つたが力戰健鬪戰況は漸次我に有利に傾いた此の方面の情況が黑鳩公の手に委しく屆いた時彼は漸く最初の判斷の誤れるを覺つて正に目的地に到着せんとする彼の豫備隊を召還更に之を其右翼に增加したが時機既に遲し乃木軍は

難戰苦鬪の代償 として北陵を手に入れ尚其の左翼は著しく鐵道線路に接近して居た當時兩翼軍の戰況發展を待つて攻勢移轉をなすべく陣地前の敵を抑留して居た私等の屬した第二軍は三月四日に至り愈々前進を起す事になつた。紅綾堡と言へる宿營地を發し東雲の薄ら明るい空に瞬く星影を浴びながら陣地に至る途中右方第六師團方面に銃聲が起つたかと思ふと

忽ち豆を炒る樣 な凄まじい響きになつた夜が全く明け離れた頃は中央軍の銃砲は轟く動き地も裂けん許りにて今私は其れを形容する適當な言葉を見出し得ないが終には私等の眼も昏み耳も聾し實に所謂無茶苦茶ともした。中央軍が一齊に陣地を捨てゝ進擊し激戰を續ける事二日又三日其の間兩翼軍は殆んど奉天城を圍むに至つたので黑鳩公は、「予は包圍されたり」てふ簡單なる言葉に無限の苦痛と失敗に對する陳謝の情とを罩めてザーに電報した

▲勝利の後 綿のやうに疲勞

窮鼠猫を嚙む死物狂ひの敵は亂射亂擊仕舞ひには銃を投げ付け劍を振り廻はして挑み掛つたが既に秩序を失ひ指揮の統一を缺げる軍隊の縱令一部に一時的勝利を收むるとも大勢如何ともなし難く終に潰亂に歸し中には方角を失つて我が軍中に迷ひ込んだ者もあり其處に一大隊彼處に一聯隊白旗を掲げて降を請ふ者引きも切らず三月十日には堅固なりし奉天城も全く我が軍の有に歸し萬歲の聲は數多の屍骸の上を渡つて血腥き北滿の空氣を搖つた而して我は一方に敵を追擊しつゝ他方には敗殘の俘虜の始末をもせねばならず勇氣出でゝ忙しさ增し愉快の際に心配潜み後には最う氣もうつとりとなつて手も足も動かなかつた綿の樣とは此の時の將卒の身體を形容するには何物足らぬ心地がする嗚呼十一年は一昔、三月十日が來れば當時の光景がまざ〳〵と眼前に展開される（談者陸軍歩兵…）

◉寺內總督臨場 本日の綬章授與式

本日正午龍山練兵場にて擧行せらるゝ在鄉軍人分會の親閱記念綬章授與式には寺內總督も臨場す可く京龍の在鄉軍人は全部遲刻せざるやう臨席す可しと尙雨天の際は擧行せざる由

◉陸軍記念祝賀會

帝國在鄉軍人會京城分會にては三月十日の陸軍記念日祝賀會を龍山練兵場にて擧行の筈にて當日晴天及び雪空なれば正午より開始すべきも萬一雨天なれば休止すべしと

◉松村侍從武官

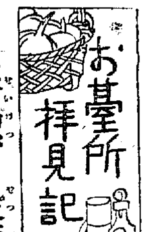
▲今筋利喰買 [illegible]

◉血迷ひたる英國要塞

何事ぞ我が郵船を砲擊しつゝ敢て曰く、實彈の代金を辨償せよとは

八日神戸に入港したる郵船會社汽船宮崎丸が二月十八日新嘉坡に於て英國官憲より不法臨檢を受けたる上實彈を發射されたる事實を聞くに同船は二月十八日シンガポールに入港せんとするや同地英國官憲より停船を命ぜられ臨檢を受けたる後漸く入港を許され同港を解纜し僅かに港外に出でたる刹那何等の警告なくして要塞より實彈を射擊されたるも彈丸は同船の前方百五十米突の海中に落下したる爲め船體には些の異狀なかりしが船客の驚愕一方ならず直ちに引き返し何故の發砲ぞと詰したるに要塞より展望中同船の甲板上にて一英人が寫眞器を取りて要塞地帶を撮影し居るを認めたるを以て停船を命ぜんとしたるも船舶輻輳し信號不可能なりしを以て發砲したりと答へたるより乘客に對し寫眞を撮りたる者ありやを尋ねしに三名の英國婦人あり是を取調べたるも別に意味ありての撮影に非ざりしより其の場に釋放されたるが來船の將校は先刻發射したる實彈の費用二十五弗を辨償せよと迫りたるも餘り馬鹿々々敷く（新嘉坡郵船代理店に支拂を託し歸航したるなりと兎に角餘りといへば血迷ひたる沙汰といふ可し（東京特電）

◉青島祝祭記念會 昨年二月本社が催せる青島視察團中に仁川より加はりたる當時の副團長淺井岳三氏及び團員たりし大石、藤木、堀、福岡、阪倉、北島、太田、平山、野田、平野の諸氏及び本社の藤村、今井の兩氏打寄り八日午後七時より仁川淺岡樓に於て同一週年記念會を開催せるが一同懷舊談に花を咲かせ失敗談など頻出し午後十一時頃十二分の歡を盡して散會せり當日堀氏より金若干を本社より金十圓寄贈したり



お墓所拝見記

△清潔な設備 朝鮮ホテルの料理場

△羹炊のストーブ 小出しの洋酒庫

何と言つても朝鮮に於ける料理場では朝鮮ホテルのそれ程完備したものは無からうとの評判、先づ一杯の珈琲から御念のいつた晩餐に至るまで總ての注文は一應食堂側の配膳室に集まるけれ共調理の總ては階下の料理場で行はれる

□料理場は地下室と云ふには餘りに明るく普通の部屋と稱するには餘りに低い感じを有つが先づ宿の料理場として此れ程完備した整然たるものは多く類例が無からうといふ事である、打ち見た所料理場の床は全部陶器の敷きつめたものとなり毎日清潔に水で洗ひ流される設備であるが室の其處此處には冷水と熱湯を引いた洗ひ場の水道栓が設けられて清潔な木板の棚から大きな卓子形の組板から何れも皆白くなる程磨きあげられてある、又洋食皿を洗ふ熱湯の釜もあれば珈琲を搘りつぶす機械

□アイスクリームの器械、銅鍋の棚、獻立を記す卓子、石炭を入れた箱など室の內部は何れも便利よく、整然と整つて居る、又普通の野菜棚にはにんじん、なす、せろり、きやべーじ、かりふらなどが籠に容れて陳べられてあるが料理場に於て一番大切な場所としられた羹炊きのストーブは長方形三坪ばかりの大きなもので此の上で一般の料理物等は全部出來上る、且つ又鳥の丸燒などはストーブの下の箱形の爐で作く出來る、ストーブの近所には銅製で內側が白臘引きの料理鍋が大きいのから小いのから出稽掛けられて何んな多人數

□お客樣でも直ちに御用に應ずる準備がある 次に又此の料理場の隣室には一般仕掛けた御馳走を保存する爲めの涼しい室があつて戶棚には等の調理したものが陳べられてある、又棚には其の日〳〵の小出しにする罐詰類を置いた場所もあり又大きな冷藏庫には彩多の牛肉鶏肉魚肉野菜等が納はれて其の入れた牛肉、鳥肉、鮮魚などが氷の間に貯はれてある、其の他料理場の一部分としてはパン燒室といふのがあつて大きな鐵製の釜ではパンとか菓子を作るに最も便利な器械もある

□猶ほ又肉潰し器械だとかパイなどを作る蠟石ののし臺なぞへあれば種々な設備もあるが要するに完備した立派な料理場たるを失はぬ、出來上つた料理はこれを箱に容れたまゝ二階の配膳室に吊りあげると此處では又給仕が食堂に運ぶ段取となる、二階の此の室はホテルの臺所の一部であつて燦然たる銀製の皿からナイフ、フォークからキラ〳〵輝る硝子のカップ類に至るまで總て戶棚に用意され又白い卓子掛けなども備へられてある、此室には又小出しの洋酒庫もあり鳥渡した珈琲やパンなどの用意も備はつてるが猶ほ皿を暖める器械や

□洗ひ物など遺憾なく備へられてある ホテルの料理は普通佛蘭西式に據つて居るがお客としては米國人が多いからお客によつて其れ〴〵お嗜みの庖厨を試みるといふ料理長は斯道に於て有名な長谷川氏である

朝鮮ホテルの理料場

▲廣告▼

株式會社漢城銀行開城支店所在地ヲ京城府南大門通四丁目拾壹番地ニ移轉シタリ 大正五年三月八日登記 京城地方法院 開城支廳

京城在勤中は公私共不一方御懇情を蒙り且出發の際は態々御見送被下御厚志忝く奉拜謝候不取敢以紙上御禮申上候 敬具 鳥山虎也太

京日案內

普通

◉募集 新聞配達人至急入用 希望者は本人前後來談あれ 京城本町二丁目 町田新聞鋪 587

◉古本買入 電話八六五 ▲▲地方送金 ▲▲御報參上 京城本二 森田文光堂書店 563

店員入用 洋家具商に心得有る者の出來年齡廿五歲迄數名一報次第回答す 金商本浦商品館洋家具部 582

▲古本買受▼ ▲▲地方即時送金 ▲▲御報即時參上 京城本町二五二 七ツボヤ書店 560

◉乳母至急入用 身體强健なるもの本人來談あれ 仁川仲町 共榮社（電話七五番） 571

◉古本品拂底に付無比高價買入 御一報次第即刻參上 電話二七八一番へ ▲京城本町四丁目 書肆 昨非堂 565

苦學生募集 學資を得んとするものは來談あれ相當の收入ある事業を得 南大門通五ノ四長崎屋內 木村 593

屆入 四十歲以上の帳場大至急入用 但家內の有る者に限る ◉京城新町 ◉山陽樓 電話一八四三 598

◉番外

◉京城發午前七時 ◉春川發午後二時 ◉京城水標橋五十 ◉春川 合資會社 間自働車 賃金片道四圓 京城支配人 松田壽男 電話二三八 594

內科 小兒科 ノノ柿醫院 （若草町橫入） 京城若草町 596

御宿 下宿 階上は南北の眺望佳絕庭園廣濶 ▲客室は閑靜 ▲親切は本館の特色 京城若草町八一番 電話一八八八番 蔦松館 595

▲花柳病專門藥 ▲▼詳細は御照會次第迅速回答す 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會滿鮮本部 597

移轉 京城明治町二丁目三十七番地 ◎新設 朝鮮興信所 電話七一七番 592

大和町一丁目（日の出橋下る） 內科 小兒科 爲春堂醫院 （電話九一八番） 院主 古城俶吉 547

質商 移轉廣告（元伊佐） 弊店は秘密を旨とし御客樣の便利を計り親切丁寧を旨とし 櫻井町一丁目大正館北橫丁 黃金町櫻井町角南入る 東屋 382

住宅 貸家 向 京城吉野町一丁目 家賃月金貳拾圓內外敷戶あり入用の方は旭町一丁目小森材木店又は吉野町一丁目中野修繕方へ 518

恩給 年金 無保險低利長期立換短期 不及便法あり 地方在住者上京に 其他擔保信用貸仕候 ○御成 京城南大門外 山口屋 539

●ほねつぎ（うちみくじき）等 一切の治療御依賴に應す 明治町 柔術道場 541

花柳病專門藥 ▲▲詳細は御照會次第迅速回答す 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會滿鮮本部 553

◉電話二千五百九十五番 ほねつぎ（うちみくじき）治療 ◉明治町交番前東へ フランス教會前 荒川 仁壽堂 548

恩給 年金退隱料 多少を不問即時融通す 利息低廉にて面倒なる手續を要せず 京城永樂町一 商品陳列館前 江州屋 店本 540

皮膚病 花柳病 專門 京城永樂町一商品陳列館坂の上 須古醫院 電話二一〇 551

勸業債券高價買入 但五圓券四圓五十錢以上拾圓券九圓以上の大勉強 ▲京城大平通二丁目 三六銀行債券部 電話二八三一 568

內科 兒科 專門 胃腸 呼吸器病 京城本町二丁目元中島病院跡 （入院隨意） 山田醫院 電話二八八〇番 574

恩給 年金公債買入 立替並商品 大正館向元 櫻井町一 電話一三一番 長崎 博多屋 店本 531

自轉車 ▲タイヤ修繕 ▲保險附自轉車直輸入 京城南大門內側 トチ商會 583

活版 母型製造 活字鑄形 ミシン直シ 京城北米倉町百四十番地 青山母型製造所

新刊書御案內

書名	著者	定價
生物學講話	丘淺次郎	四五〇
進化原論	谷 外	一五〇
物理學計算理論講義	近藤淸次郎	九〇
無門關講義	釋宗演	八〇
文字の訓練	林、眞澄	一七五
人生の裏面	村上浪六	一〇〇
信念の發揮	南條文雄	一〇〇
切る法と買わせる法	佐藤信太郎	一七〇
陸海軍人物史論	安井滄溟	一二〇
獨逸與國か滅亡か	下村二郎	八〇
逆元錄	相馬御風	六〇
心の町	稻毛詛風	九五
キップリング短篇小說	馬場恒吾譯	[illegible]
名金探險小說	靑木緑園	五〇
續名金		五〇
伊達騷動	貞玉	三〇
女のうらおもて	齋州有美	九五
世界名士の癖	榎本秋村	四五
女學校生の花嫁さん	奥の紐兒男	四〇
野の花	黑岩淚香	一三〇
夢想の生活	佐々木邦譯	一〇〇
黃金の林	國木田獨步	六〇
獨逸怪艦エムデンの奮戰	ミュッケ 副島	七五

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城七二五

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速に且つ可成親切を旨とし御需に應ず 京城日報社 寫眞製版部

千生瓢 (149)

須藤南翠作　筒井年峰畫

零れ苗（三）

「いや〳〵知つたのは其ばかりぢやない。御身の名も知つてゐる。御身今は何と稱び變へて在すか知らぬが幼字は慥か六之助殿とお言やつたらうがの—」

「おゝおゝ私は其の六之助ぢや。六之助ぢや。此方さんは誰ぢや、早う聞かして下され」と、六之助は餘りの不思議に、磯らはしさも打忘れて立ち寄つて其肩を揺り動かした。佐野は其手を無手と把つて、

「まだ尋ねたい事がある。御身は一時友九郎といふ者に、養はれた事はないか」

「えッ友九郎!?」

三之助は踴然と飛び退いて、

「友九郎叔父の知己なら、此方は用はない。一昨日ござれ」ぶんとして天嘯き、足を廻して去らうとした。佐野は周章て縋り著き、

「いえ〳〵其樣な者ぢやない。御身には左の腕に黑子がある筈。足の裏に悲がある筈。さゝこれまで知つた妾こそ、佐野源左衛門常世が末孫、

佐野六郎が遺兒、幼少より柴田殿の御與に仕へ、佐野と稱はるゝ家女房おざる。いざ更めて見參申さう」と在の祠に額づきて、破れたる衣を脱ぎ棄て、裏を披いて紺の小袖に更衣た上、衛御殿の模樣の揩箔した、袿衣を上にはをり、守刀を帶したまゝ謙下つて三拜した。

「若君御懐しうおざりまする。斯う申し上げまいても、御得心は參りますまいが、斯く不束な佐野風情を、殿御不便に思し召され、御慈の仰せ淺からず、御身を安々產み奉つる。其子には三之助と名を付けて、城外に差遣はし、勝家が子とはせまじきぞ。と中村文荷齋に仰せ付けられ、幸若の舞々七九郎へ遣はされた事。後にて佐野は承はつておざりまする。其後七九郎が弟、友九郎と申す者、若君の事を餌にして、度々金銀を貪り取るよし、中村殿の御物語を、側聞きしておざりまする。此事御合點遊したら、更めて御目にかける、大切な品おざりまする。能く〳〵御思案遊ばされませ」

在りしに躾る禮儀作法、御殿勤めの後外れは、何拖ふ所がなかつた。三之助は見るにつけ、聞くにつけ、恰も野狐にでも魅まれた心地であつた。密と我身を抓つて見て、痛さを慥かに感じながら、信じ離て躊躇するのを、佐野恨めしげに見上げながら、

「是れまでの愛さ幸さも、今日一日で忘れたものを、若君には何御猶豫遊ばします。左樣なれば伺ひます。七九郎夫婦の世に亡きよしは、御物語で承知致いた。其後は何處の誰に、如何なる人に育くまれて、左樣に御身大きくなられました。先づそれ仰しやりませ」と、凝つと其方に詰め寄つた。三之助はうち點頭いて、

「爺ぢや姥ぢやの亡くなつてからは友九郎叔父に育てられ、少し大きうなつた時、舞々の稽古さすとて、幸若太夫八郎九郎殿の許へ預けた限、友九郎叔父は姿を隱し申したぢや。親類もなし、兄弟もなし、何處に行く家もないので、太夫殿の不便を受け、內弟子にして養育せられ、此樣なに脊丈が延びたのぢや」

「おゝ左樣でおざりまいたか。して若君には、俺まで七九郎の子ぢやと思し召しまするか」

「さあ、私は幼少で知らぬけれど、衛とばかり思うて居る。ぢやが聞かしやれ、新しい國守樣、氣比の宮御參詣、吉例に依つて太夫殿も召させられ、舞々を奉納の時、始て國守の御前に出て、御盃を戴いたが、今度の國守柴田殿は、三之助に生寫しぢや。不斷其方を見て居れば、國守樣の御館を忘れぬと、斯う言はれた事がある。其時私も聞きまいた。爺ぢやや七九郎も、國守殿に似てぢやつたかと。すると太夫殿手を拍つて、いんにや〳〵七九は六十三文が人形ぢや。何で鬼柴田樣に似て居よう。似たのは三之助其方ぢやと言はしやれた事がある。其方能う見て下され、似たか似ぬか、私が面を」と三之助はぬつと顏を突き出した。

□ソーウル詩社詠草

吉岡富士東

○宴はてゝ蹟家ば床は冷たかり哀愁ひし〳〵胸に迫れり。

そとゆきて又そとかへる『かなしみ』に唇嚙む癖となりしこの頃。

枯木林夕づく頭を小鳥きて何啼く心いまいたなり。

漂浪の男なるべし青樓街の雪降る夜を默し歩めり。

○　坂崎青丘

嬉しさはやがて悲しみさそひ來て仕事手休めフト空を見る。

冷えびえし大地踏みつゝ生くるてふたゞ一事に誘はれて行く。

もの言へばうつむき勝ちに頬そむる君がしまだに目をとめて見る。

いづちより來りいづちへ飛び去るかやまひある日にきなく小鳥よ。

金もたぬ男一人の魂がもつれ〳〵てやりどころなし。

いつしらず淺り惜しさを玄關に立ち話するかなしみを得ぬ。

新らしき生命とらへし心地して今日も落日の森に親しむ。

□平壤燒栗會句稿（上）

月の一日例會場で例會を開き例に依つて例の如く互撰句を發表した後、僕の撰をも開いて大に評論を試みた。題は『風』である、同人の大方は非常に忙しい事務を持つて居る處へ亦た忙よろの忙しい事が續いた爲に出句者も少なく推敲の餘地がなかつたを慨さする大體の句振も餘り擢んでたのもないが亦たソコに努力の跡が見へる、成績は空迷樓（二十五點）露光（二十四點）汀人（十八點）草樂、未成老（十四點）南涯、鴎四水（十一點）紫朗（十點）馬郷（九點）碧水（八點）樂天鏡（六點）一雨、紅鳥（三點）溪水（二點）—（秋記）

三點

炭線に骨のみの風車鞋に照れり　碧水
[illegible]　鴎四水
坂野一ヶ家白貼り風が淋しけれ　馬郷
四疊半に寂離はつきて風の吹き凉れ　汀人
切れ凧のかゝりまゝ暗くなりゆく梢　草樂
雲迅まで凧糸ゆるふ原の夕　露光
針杉の梢かゝり凧の破れ吹く　鴎四水
凧しだり顏に聞き野の畳を占たり　南涯
可愛い手に有り凧落て狩にすやくと　露光
群に踊して結ひ結ふ風合せみる哉　紫朗
狂ふ凧に夕仕役し手のたくりかな　空迷樓
拉情い上き細きお立てる凧狙みて　露光
果しなき海よ空よ凧唸るまひる　空迷樓

四點

凧の原たらなる煤烟に工場の響き哉　空迷樓
障子硝子に晴れゐ空を一つの凧　汀人
大空動かぬ凧なれ雲深き哉　未成老

五點

懸り凧のまゝ星瞬く梢とたれ　草樂
湖心影ひたす凧高くひくく　紫朗
大凧の唸り高き陽に一杯に障子　樂天鏡

八點

潮ゆるむ來る濱に凧に暮れ初め　汀人

新刊紹介

▲愛知縣商品陳列館報告（第五回記念號）同館五週年記念會を開催するに當り全國玩具、學校用品、文具展覽會、滿洲部、露吉物產支那印度、南洋貿易品等を陳列し開催に關する出品及び爲すべき事は即之れが各種の記事統計商況紹介等を概括的に叙述せるものなり（五錢名古屋市中區門前町其部）

▲人格と幸福（四の三）論說、修養、趣味、健康、職業、家庭、宗教、文藝、動靜各欄を設け簡明に要を說けり（六錢京都市祇園萬里小路東山通西入向治修養會）

▲義勇青年（三月號）義勇尚武の氣風を養成する事に努め和田垣、新渡戶、本田諸博士、澁澤男、田中陸軍中將、伊﨑同少將其他の有益多趣味の記事多し（十五錢東京市牛込區南榎町七四其社）

▲寫眞要報（七の三）十錢大阪市南區心齋橋筋順慶町其社

▲農家（三月號）十錢東京市小石川區宮下町農友社

▲衛生新報（一三の一七五）五錢東京市日本橋區蠣殼町一四其社

讀者の領分

▲江界郡高山鎭にて親の承諾證無くして酌婦娼妓稼ぎをさせて居る者がある（千里眼）▲余は赤色の染粉一斤入用の人は安價に御渡申候也（新月）▲一昨年まで慶州に居られました蝶子樣よ私はあなたの最も良く知つて居らつしやる者で至急お目にかゝりたいですが只今のお住所を本欄までお敎へ下さいませんか（旅行女）▲ウ君よ君は法律研究に熱心だけに家屋土地賣買金錢貸借の方法に熟達し近日中に外國人と共同にて某倶樂部を組織すると云ふ君の發展を祈る（一友人より）

商況

大阪株式特電

京阪電鐵　一一、五〇
和歌山紡　[illegible]
合同紡績　五六、三〇
鐘淵紡績　一五七、〇〇
日本郵船　一二八、〇〇

大阪三品

（九日後場）
三月限　一二九、二〇
四月限　一二九、五〇　一二九、〇〇

仁川米豆取引所

▲九日後場當限寄付十三圓〆五錢止め九錢▲中限寄付十三圓二十六錢止め三十三錢▲先限寄付十三圓四十七錢止め四十五錢

▲後場の手振り [illegible]

▲丸り能く賣る [illegible]

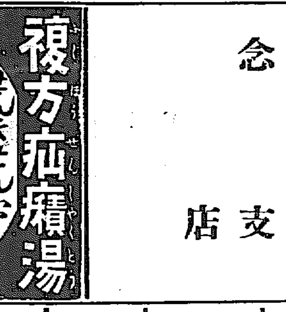
▲後場不勢 [illegible]

▲本日の現物界 [illegible]

九日の五月限 [illegible]

平均値段 [illegible]

祝三千號記念
京城南大門通
雜貨
玉植商店京城支店
電話二二五二番



複方疝痛湯
せんきせんきやく腰痛の良藥

質
京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所
（電話六三九番）

預金利息改定
三月十一日ヨリ實施　日步　壹錢參厘
株式會社長崎貯蓄銀行
代理店　十八銀行京城支店
同　龍山出張所

祝三千號記念
京城南山町一丁目
會席御料理　松葉亭
電話二二三五番

謝近火御見舞
京城本町一丁目
嶋崎孝彥
電話一六四九番

平壤大和町
桑田支店
電話一六三番

祝三千號記念
平壤八千代町
西嶋新藏

祝三千號記念
黃海道鳳山郡
舍人面長　鄭允一

京義線沙里院
齋藤病院
院主　正七位　齋藤信市
同　內科部
（病室の設備あり入院隨意）

京義線沙里院
綿木、雜貨並食料品卸小賣
山本圭次商店

沙里院府立尋常高等小學校
山內眞一
外職員一同

京義線沙里院
米雜穀並海產物委托賣買
朝鮮總督府度量衡器委托販賣
惠良商店

仁川仲町三丁目
須田六四郎
電話七〇三番

產婆
上田操
電話六四七番

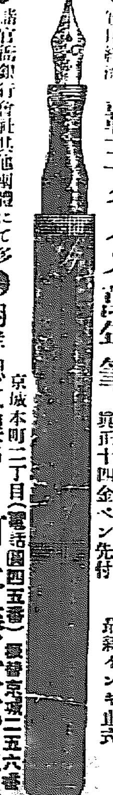
仁川海岸町
田中佐七郎

仁川仲町
川添三次

天安
天安旅館
晉山軍助

測量及代書業
藤井八重藏
電話二七五番

目錄送呈



◎完全無比實用經濟の
覇王グラス萬年筆
米國パアレット會社製　貴重十四金ペン先付　最新インキ止式
◉諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候
◉朝鮮總代理店
京城本町二丁目（電話四五番）振替京城二五六番
釘本藤次郎本店

祝三千號
營業科目　活版、石版、アルミ版、コロタイプ版寫眞版、諸帳簿製造、兩切煙草用紙捲パイプ
朝鮮京城旭町貳丁目
京城印刷所
電話　四五七二番
電話　二八四三番
電話　一一四六番
振替口座京城一四七六番

祝三千號記念

旦那樣の御滿足は奥樣のお悦び
旦那樣の御滿足は※澤の鶴によりて得らる
品質の一定不變……混合物の絕無
香味の芳烈無比……價格の低廉
此四ッ揃つたのが家庭必備の良酒※澤の鶴に候
日光　特約店　喜壽　米
佐藤牧商店
京城本町一丁目
電話九二番

謝罪廣告

拙者儀貴店製大學目藥ガ眼病藥トシテ世ノ高評ヲ博シ其販路ノ廣大ナルヲ羨望スルノ餘リ貴店ノ大學目藥ノ登錄商標ヲ模擬シ弊店ノ製藥ヲ發賣致候爲メ今回公然ノ手續ニ及バル、ノ場合ニ立至リ候處貴殿ノ寛大ナル御措置ヲ蒙リ今更汗顏ノ至リニ堪ヘズ謹デ謝罪仕候也

大正五年貳月廿五日
岡山縣都窪郡庄村字二子壹千拾貳番地
坪井紋七

大阪市東區北濱一丁目
大學目藥本舖
合資會社　參天堂藥房殿

日韓書房
新版報告
男爵森村市左衛門　奮闘主義　定價一圓二十錢　送料八錢
醫學博士額田豐述　安價生活　定價一圓八十五錢　送料十二錢
文學博士三宅雄次郎　宇宙　定價一圓五十錢　送料六錢
文學博士加藤弘之　人性の自然と我邦の前途　定價九十錢　送料十二錢
釋宗演著　碧巖錄講話　上卷　定價一圓五十錢　送料十六錢
京城本町二丁目
朝鮮電話一四五・二二七番　振替口座一一一五番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　神丸　三月廿一日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　立神丸　三月九日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　三月七日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　三月十六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三琴平丸　三月十日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　三月十九日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　大兵丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山本町　本館取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○外國航路（本社航路ヲ除ク）連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　宮島丸　三月十一日　午後五時出帆　汕頭丸　三月十五日　天智丸　三月十二日
○木浦、釜山、長崎行（▲は嚴原寄港）　×安東丸　三月十一日　午後二時出帆　▲城津丸　三月十九日
○鎭南浦、大連行　安東丸　三月十二日　午後二時出帆　城津丸　三月十四日　津州丸　三月八日　正午出帆
○大連直行　潮州丸　三月廿五日　福州丸　三月十日　正午出帆
○群山、釜山、横濱行　潮州丸　三月三十日　福州丸　三月十六日　午後四時出帆
○淸津、浦潮行（元山出帆）　須磨丸　三月廿七日　臺北丸　三月十七日　大智丸　三月廿二日　午後二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　安平丸　三月十六日　新高丸　三月廿四日　午後四時出帆
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二〇番五五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行御客に對し當分門司迄一割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

殖民青年の資格要件（下）

□節制的習慣を要す

其他吾人は本國に居つても始終病氣其の他幾多の危險に暴露されて居るのであるが、殖民地に於ては更に倍幾多の危險が常に吾人を襲撃せんと脅かしつゝある。其襲撃を免れ或は之に抵抗する事は善く訓練された精神を持つて居る人の獨り能くする所であり充分鍛錬された鐵石の身體の能くする所である。而して又斯樣な身體を鍛へ上ぐるには、即ち節制的習慣が必要條件である。節制的習慣が必要であると申しても、私は決して一日の仕事を終つて休息の際に小樽の晩酌までも全然廢止せよと云ふ樣な極端な節制を強ふる譯ではないけれども、何れかと申せばアルコール性の刺戟物は全く廢止する事の出來る人の方が植民地で健康を維持する爲めには確かによいと思ふ。酒に較べると煙草の方は遙かに害が少ない樣である。併し煙草でも何の食物でも總て適度を守る事と規則正しく用ふる事が最も肝要である。

□觀察的才能

植民地で活動するには、前に言つた資格の外に、今一つ必要なる資格がある。蓋し現今の獨逸領植民地に於ける生産物は多くは原始的に獲得せられ、歐洲人の爲すが如き經濟的活動なるものは初め全く存在しなかつた。然れども斯樣な地方でも其土地の秘密を探り出し、何處で永續的な安全確實な耕作が出來るか、どんな種類の植物なら生長し得るか、何種の動物が飼養し得らるゝか、未だ人間の手の觸れない處女地にはどんな鑛物が伏在して居るかといふ事の調査發見は最も必要である。是等新富源の調査發見開發をなすに就ては、明敏なる觀察的才能と、種々なる智識を準備した人を俟たねばならぬ。

□發見的資性

凡そ自然は吾人にとつて最良の指導者案內者である。而して或種の性物を生ずべき自然的の他の條件が類似して居るに拘らず其の産物が獨り其地で出來ないとすれば、其處に何か其産物の敵が在るといふ事を示して居るので、斯る場合には先づ其敵が果して何であるかと云ふ事を發見し而して之を退治する工夫をせねばならぬ。それから又鑛物の發見は從來大抵の場合に偶然的の事であつたけれども、併し其偶然と云ふ事は盲目的の偶然、即ち盲目者が漫然出會したといふやうな、偶然の出來事ではなくて、目の明いた所謂觀察的能力を持つた人が正しく其場に行つて其處で初めて起る偶然的の出來事である。此の所謂偶然的發見すらも決して盲目で出來るものではない。故に殖民地活動に必要な第一の要件は、先づ健全な鍛へ上げた身體と努力の備はつた練熟した精神であると云はねばならぬ。此の精神と身體とを有する人であれば、外界の自然は彼に幾多の印象を與ふべく、其印象は大に彼れの精神を爽快ならしめるであらう。從て彼れは故郷を離れ、一族に別れ、開國の文明社會から遠ざかつた爲めに失ふ所があつても一方には又充分に其缺を補ふて之に代る程の樂を得る事が出來るのである。

□人格と素養

植民地に於ける天然的事實の外に又別の方面からす吾人の興味を惹起するものは土人である。土人は其習俗智識感覺體格等から見て純然たる境遇の産兒であつて、我植民地を支配し文明の風化を及ぼす要素たり開發の目的物である。而して此の土人を支配し文明の風紀道德に導き其の境遇を向上せしめる事は文明開拓の先鋒たる植民地活動者の職分である。職務地位の如何に關らず吾人の齊しく心掛けねばならぬ一大職分である。此職分を果すには先づ第一に土人を知るといふことが必要である。然るに土人を知る爲めには明敏な觀察能力と沈着平靜な心情と正義公正を尊重するの觀念を具へたる人でなくては適任でない。即ち斯く論じ來れば植民地で成功するに必要なる條件は前に擧げた身體上の資格の外に更に之と連關して而かも一層高尚なる人格的資格を必要とするのである。智識、道德、風俗、生活共に文明人に劣つて居る土人を化して性情を和らげ智識を進め健全なる生活狀態に進め、文明國民と共に生産的生活に移らしむるには、經驗と智識と權威の三者を巧に用ひ、永き年月をかけて初めて漸進的に其目的を達し得べきである。殊に權威といふものは一の人格的資格であつて、求めて容易に得られるものでない、即ち權威を得るには先づ大なる克己自制が必要である。自らを制し、自らを支配し得る人でなければ決して他人を制馭する事は出來ない。自己の命令を自から守る人でなければ、他人に對し命令し之を從はしむることは出來ない。忍耐力のある人でなければ公正を保つことは出來ない。感情に動かされない冷靜な人でなければ他を指揮指導することは出來ぬものである。凡そ權威を持するの[illegible]を以て知るべしである。可憐なる土人を開發して文明の恩澤に浴せしむるには土人を理解する事を必要とする、それには土人の言語を知らねばならぬ。茲に於て植民地活動の第三の要件が生じて來る。即ち充分なる學問的素養を有する事である。故に獨逸の青年は其の從事せんとする職業の如何に論なく學問的素養なくして植民地に行く事は不利である。

昨今の財界

漢城銀行專務　韓相龍

玆に京城日報の三千號記念を祝して聊か朝鮮經濟界につき感ずる所を述べんとす

□貿易の趨勢

我が朝鮮貿易は逐年增進を示し殊に總督府始政以來專ら産業の振興を圖らしめたる其の實蹟顯著にして將來益々進展せんとしつゝあるは國利民福上大に慶喜に堪へざる所なり。試に最近貿易の趨勢を觀るに大正三年度の輸移出入總額九千七百六十二萬餘圓にして大正四年度は一億八百六十九萬餘圓に達し兩年度比較對照せば實に一千百七萬餘圓の增進なり更に本年一月と前年同月との貿易額を對比すれば大正四年一月六百八十四萬餘圓にして本年一月九百七十萬餘圓を算し其の差二百八十六萬餘圓の增加にして客年一月以降貿易統計上地金銀輸出を加算するとせば優に百萬圓以上の輸出超過を示し貿易の均衡を保つに到りしは朝鮮半島の産業の發達を證するものなると同時に半島の經濟界の堅實なる進步を意味するものと謂ふべし

□經濟發展と金融

從て金融界の部面も活動し助成に努めつゝあるは謂ふを俟たざる處なり今京城市內九銀行の成績を觀るに大正四年二月十五日現在預金二千四十萬六千七百九十六圓貸出金三千二百七十三圓にして本年二月十五日現在預金二千五十八萬九千六百三十七圓貸出金二千九百九萬四千三百六圓なりとす依之觀是客年同月との比較上預金十八萬二千餘圓を增加し貸出金三百六十六萬四千餘圓の減少を示したるは現在金融緩漫を表明せる處にして內地金融界の緩漫貿易順調加ふるに金融繁忙期の經過等自然當地金融界を緩漫ならしめたる原因なるべし

□金利の引下

於玆朝鮮銀行は金融の大勢に鑑み預金利率改正の發表あり次で各同業者に在ても預金利子引下を斷行するに到りしは調節策として適當なる所置と謂ふべし而るに近來商品物價は騰貴の一方にして就中藥品、金物類其他雜貨の如き戰亂の影響を受け數倍若くは十數倍の騰貴となり獨り米價は客年十一月以降歲末に至り春高見越等の爲め好況を呈し輸移出激增を現はしたりしが新春に入り米價軟弱取引鈍狀となり現下各地とも停滯の狀態にて荷動き極めて不活潑となりたるより一時購買力旺盛なりしも漸く減縮の傾向を表はし來り又一面に於ては[illegible]資金の需要も漸く喚起しつゝあつて此[illegible]資金の移動あらんも金融の大勢は當分緩漫なるべきの如し

[illegible]に臨み[illegible]總督府始政五年記念朝鮮物産共進會開催は將來の産業開發上裨益する所大なるは勿論[illegible]朝鮮人を啓發せしめたることは顯著なりとす是れ今後産業の振興に期待すること少しとせず吾人當業者も亦相當の任務あることを覺悟し奮勵努力せざる可からずと信ずるもの也

○老馬　安永春雨

[illegible]

彰。千古奧都主政新。白首春教活暖飯

西征北伐從大兵。攻城野

賊助銳精拾騎何日一當萬。故極馴綠

決轉戰[illegible]木伯濱變今誰

帝旛開莫永留驥足。蘢北之群古來空

請問何曾無伯樂。祖先功名青史傳。戰

友晨何遊殘年。羅起驚八非汝事。嘶花

眠月放牛邊。

評曰　驅筆駿駿、宛如驊騮、三千年之歷史借老馬寫出、何等慧才、結處飄託愁厚

○老馬　小永井槐陰

憶昔從戎出朔漠。鐵蹄踏破石頭霜。角

聲動處烽煙白。鞭影飜時塞草黃。虜驕

聽發神忽喪。將軍按轡氣逾揚。如今買

骨人安在。振擬秋風立夕陽。

評曰　句句切于老馬、筆筆老健、

○同　上　高田小芥

鐵蹄蹀躞戰場雲。鞍上同心奏偉勳。今

也主君催鶴髮。太平養老臥斜曛。

評曰　起承壯烈、將都剩有句、將軍與爾同死生、千古萬古歌太平、通首亦同意

○同　上　隈部矢山

裘回征戰赴沙場。與主同功聲譽揚。可

憫如今空伏櫪。橫門道畔泣斜陽。

評曰　語淺意深

祝三千號記念

黃海道海州府內　細川正敏

黃海道黃州郡黃州邑　柳澤佐太郎

黃海道沙里院　日鮮雜貨　穀物商　綿布商　梅田敏一　大阪屋

沙里院驛前通　大正町　手工用具　㊀松尾[illegible]郎

沙里院　丸万醸造所

慶北　高靈郡廳員

慶北高靈邑　古田代書事務所

慶北高靈邑　八波善吉

慶北達城郡玄風　稻垣八代藏

郵便車　荷馬車　營業所　慶北安東邑　大邱府錦町　主任　國井定次郎

大邱元町電話三〇一番　丸山製靴場

土木請負　石材部　大邱西城町電話三八番　岩瀨商會

高等下宿　大邱錦町　三友館

表具一切　大邱元町　原田東旭堂

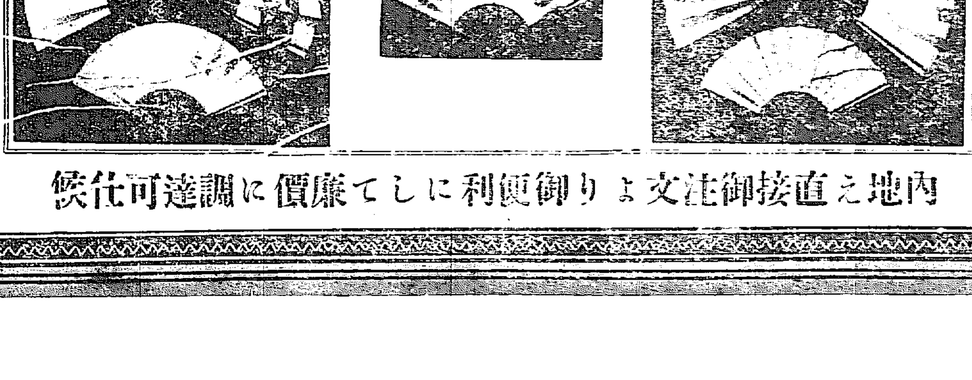
大邱府　鄭鳳鎭

大邱府　下條鐵工所

慶北盈德郡寧海　久場政用

扇子團扇の御印入調製

弊店え御注文の品は凡て京都にて製造に付品質精良なり



內地え直接御注文よりも御便利にして廉價に調達可仕候

繪柄骨形は御好み次第

扇子問屋京都みのや代理店

團扇問屋京都大長代理店

朝鮮繪葉書發行元　京城本町二丁目

內外繪葉書類卸商

額椽額繪圖畫

日之出商行

電話九百五十六番　振替京城四〇二番

地方より御注文の節は御一報次第見本定價表速に御送附可申上候

市內御用命の向へは何時にても見本持參御尊覽に供すべく候

祝三千號記念

祝三千號記念
京城鍾路
篠原呉服店

黄海道鳳山郡沙里院
代書業　竹馬己代太
業務は叮寧親切且つ敏速に取扱申上候

大邱府元町
山下雜貨店

大邱東本町
三島辰次

大邱田町
加茂儀作

大邱　煙草仲買商
商會

大邱錦町
佐藤周藏

各種石炭　各種煉炭　コークス　木炭　薪
三ヶ尻商店
大邱府錦町　電話三五三番
今般更に薪炭販賣開始仕候間何卒御用命願上候

大邱府上町
田村賣品舘
電話四九番　振替京城二二九九

大邱元町
藥舗　町田回春堂
電話四二二番

祝三千號記念
京城南大門通三丁目
廣原京城支店
電話九一六番
古銅鑛亜鉛並に諸機械
本店　大阪西區九條通三丁目　廣原本店
支店　平壤南門町　廣原支店

祝三千號記念
京城長谷川町
大倉洋紙店
京城出張所
電話四九〇

祝三千號記念
京城旭町一丁目
喜久家
電話一三八三番

祝三千號記念
辯護士　法學士
京城大和町
辰市本丸
電話六八三番

祝三千號記念
京城南大門通三丁目
㊣高瀬支店
電話三八番　振替一九五番

祝三千號記念
内外織物　敷物裝飾品　家具並　洋家具　消火器
京城本町一丁目四十八番（電話一六七番）
横山隆一支店
本店　神戸市元町一丁目一百卌番屋敷　電話本局八〇四番

京城木材商組合　いろは順

石崎商店京城支店　京城岡崎町拾番地（電話一八五五番）
堀内商會　京城古市町（電話一六九番）
金正材木店　京城黄金町三丁目（電話一一四八番）
大二商會　京城古市町（電話一八二番）
熊野商會　京城黄金町（電話一三三八番）
丸一材木店　京城旭町一丁目（電話七四四番）
小森商店　京城岡崎町（電話二六五番）
三幸洋行　京城二村洞（電話龍山五三七番）
貴田材木部　京城明治町一丁目（電話一九四〇番）
北方支店　京城岡崎町（電話四一四番）
清水製材所　京城岡崎町（電話二一七八番）
平井商店　京城黄金町三丁目（電話四二八番）
木材商會　京城岡崎町（電話四三四番）
須川材木店

祝三千號記念
活版、石版、アルミ版、寫眞版、コロタイプ寫眞石版、凸版、凹版、金銀刷其他一切の美術印刷、木版彫刻、寫眞製版、銅版及銅版の彫刻、活字鑄造販賣
朝鮮京城明治町二丁目
日韓印刷株式會社
電話局三三三番二三〇番　振替口座京城四二二番

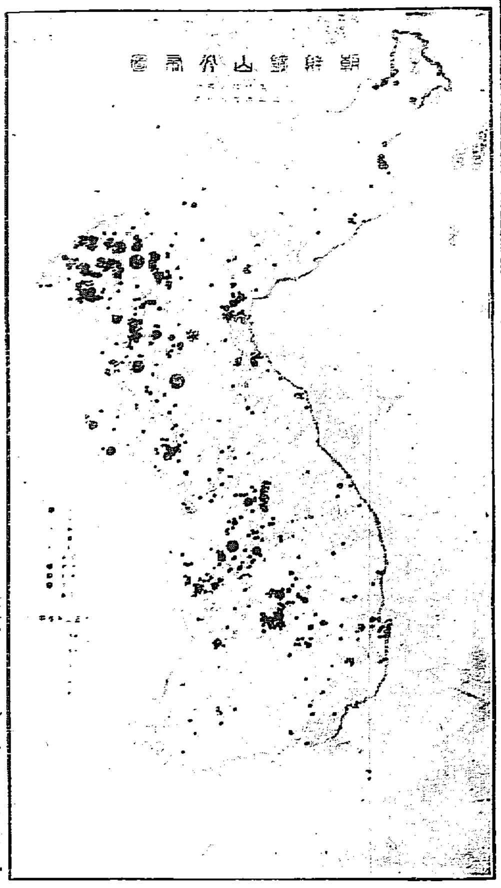
土木建築請負業　いろは順

伊藤組　京城府漢江通り　伊藤龜太郎　電話六四一番
盛陽社　京城府漢江通　市原富次　電話　番
大高工務所　京城府漢江通十一番地　大高虎吉　電話六三六番
津田組　京城府漢江通り　津田辰次郎　電話六三九番
永田組　京城府元町二丁目　永田音吉　電話三四七番
藤井組　京城府漢江通り　藤井森次郎　電話六二一番
木原組　京城府元町二丁目　木原猪之丞　電話二〇五番
大橋組　京城府漢江通り　宮地吉太郎　電話一〇八番
白坂組　京城府元町二丁目　白坂七雄　電話二〇七番

祝三千號記念
京城南大門通三丁目
西洋酒食料品並雜貨商
青木堂
電話四二〇番
カフエーライオン
西洋料理　各種洋酒
電話四二一番

紅蔘專賣事業に就て

專賣課長 平井三男氏談



■長命延壽の神劑

人蔘は古來東洋醫一の神劑として貴重せられ長壽保命の靈藥として異常に珍重せられ、殊に支那に於ける信仰に至りては殆んど神秘的なりとの批評は誠に適評なりとして識者に是認せらる、近時漢藥勃興の趨勢に應じ本邦に於ても學者間人蔘の研究は更に一進境を劃せんとしつゝあり、又米露諸國特に露國の首都ペトログラードに於ける皇室博物館の如きは諸國人蔘標本の整備は正に世界第一と稱せられ、朝鮮人蔘の藥學的研究に付ても一頭地を拔けるものありと推稱せらる、京城日報の三千號に於て長命延壽の神藥談は蓋し記念號に恰好なる可きを思ひ斯の文ある所以也。

人蔘は五加科に屬する宿根草にして其採掘したるまゝを水蔘と云ひ是より紅蔘及び白蔘を製造す、紅蔘は政府の專賣に屬し專ら支那に輸出販賣するを以て支那以外普通世間に流布せず、度支部專賣課開城出張所に於て之を製造し民間の密造販賣に對しては紅蔘專賣法に嚴しき罰則あり又白蔘の製造及び販賣は全然民間の自由に委せらる、左に聊か紅蔘專賣制に付て叙述す可し

■紅蔘專賣の由來

紅蔘は古來支那人間に貴重せられ爲に大金を投ずるを惜まざるを以て舊韓國時代に毎年彼地に遣はす受曆官及び冬至使の北京に赴く毎に之を齎らしめ、其製造に付ては包蔘稅を課せり、實に李朝英祖の二十一年（今より百七十一年前）のことにして以て司譯院の用を補へり、紅蔘專賣の濫觴は茲に存す、後李太王の光武元年（明治三十年）包蔘（紅蔘製造）の事を內庫に付し宮內府の管掌となし光武三年（明治三十二年）內藏院の內に蔘政課を置きしが、國庫の一財源と爲す目的を以て隆熙元年（明治四十一年）移して度支部所管となし、翌年紅蔘專賣法を制定し、明治四十三年朝鮮總督府の事業として承繼し、現に度支部專賣課の所管に屬し同課開城出張所に於て製造及び原料水蔘の收納其他耕作上等一切の事務に從事しつゝあり

■專賣上の諸施設

▲特別耕作區域の指定● 紅蔘原料の產地は古來自ら一定し此に對しては特殊の制限施設を爲す必要あるを以て專賣法の發布と共に其區域を指定し、區域內の蔘圃に對しては特別の指導獎勵監視取締を爲しつゝあり現に指定區域たるは京畿道、開城、長湍、豐德、黃海道、遂安、黃州、鳳山、平山、瑞興、金川、平安南道、中和の三道九郡なり。以下列敘する所は此區域內に行はるゝものにて一般人蔘に付ては未だ積極的の施設起らざるも其大體につきては後段に附說すべし

▲水蔘賠償金の交付● 專賣法に依り政府の收納する水蔘に對しては賠償金を交付す、舊韓國宮內府時代にありては年毎に決定したるのみならず其仕拂亦極めて不確實なりしかば弊害漸く生じ蔘業衰頽の因を存せしを以て、明治四十一年九月及び翌年九月の兩度に賠償價格を公表し耕作者の所得に保障を與へ斯業の復活に貢獻せり連年交付せし賠償金額如左

大正四年	四六一、六二二、〇〇〇
同三年	三七六、七六七、〇〇〇
同二年	二七一、七〇五、〇〇〇
同元年	九四、五四五、三五〇
明治四十四年	三六、七六〇、〇五〇
同四十三年	一二、三八三、二〇〇
同四十二年	三一、九〇九、九〇〇
同四十一年	七一、〇四〇、六〇〇

▲人蔘耕作者の褒賞● 明治四十一年九月度支部令を以て此が規程を定め四十四年二月總督府令を以て人蔘耕作獎勵規則を發布し此を統一して從業者に及ぼせり、同年以降大正四年迄に褒賞せられたる人員は耕作者五十八名、從業者卅五名、此が爲に費せし金額千二百九十三圓を計上し尙外に銀杯廿五個蔘苗二百十三間あり

▲人蔘耕作上の制限● 新設蔘圃の豫定地は先づ以て屆けしめ吏員に於て其地勢、土質等監視及び耕作に適當なるものゝみを許可せり、次に蔘圃の急增は資金の欠乏、耕作の疎略を招くのみならず紅蔘專賣の標準を動搖せしむる虞あるを以て毎年新設の蔘圃は四萬間以內、定植蔘圃は三十萬間以內に限定せり

▲人蔘の病害豫防及治療● 人蔘には赤腐病、黃枯病等種々の病害あり、專賣法施行前後は殊に旺盛を極めしを以て此に關する學術的研究を開始すると同時に此が治療及び豫防上の施設を實行し、明治四十三年以降の病根治療約五十萬間に及び、明治四十五年より開催せられたる蔘病豫防の講習を受けたるもの約四百名、其修了者は豫防員に採用し此亦百名を超えたり、倘ボルドウ液撒布フォルマリン土壤消毒を蔘圃地の全般に對して行へり

▲蔘病檢查及害虫驅除● 明治四十三年九月蔘苗檢查手續を定め翌年移植の際より實行し連年好成績を擧げつゝあり、害蟲の驅除につきては種々經驗の結果買上を以て最も可なりとし大正二年より實行し年々此がため數百圓を投せるが大正三年の如きは六十三萬疋に達したり

■紅蔘製造の好調

原料水蔘の改良に向ふと同時に製造紅蔘の品質漸次改善せられ且つ耕作の增進に伴ひ原料豐富にして紅蔘製造高亦此年多きを加へつゝあり如左

	紅蔘	紅尾蔘	計
大正四年	一八、七四〇斤	七、六九一斤	二六、四三一斤
同三年	一三、〇八八	六、四〇四	一九、四九二
同二年	一七、一二二	四、五四六	二一、六六八
同元年	五、八六六	一、五四四	七、四一〇
明治四十四年	二、三一九	六六四	二、九八三
同四十三年	九九四	三〇八	一、三〇二

■開城蔘業組合

明治三十二年以來特別耕作區域內の蔘業は年を逐ふて悲運に陷り其原因たるもの種々ありと雖も資金の欠乏亦其大なるものたるを失はず即ち四十三年に至り政府は耕作者を勸め蔘業組合を組織せしめ農工銀行に交涉し毎年私設の蔘圃間數に對し相當資金を供給せしめ其業務繁忙を告げつゝあり、組合は又白蔘の共同製造場を有し其統一を圖り兼て專賣法の取締に任せり此他自ら苗圃を經營して良種の栽培の範を示し組合員の爲に上意下達下意上進の衝に當り其基礎亦漸く強固に赴きつゝあり漢湖農工銀行より借入額左の如し

	借入金額	現在額
明治四十三年度	一〇〇、〇〇〇圓	……圓
同四十四年度	一〇〇、〇〇〇	三五、九六二
苗圃資金	一〇〇、〇〇〇	六九、一三六
賠償金擔保	一三〇、〇〇〇	一〇八、〇〇〇
大正三年	一四〇、〇〇〇	……
同四年	一〇〇、〇〇〇	……
同五年	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
計	八二〇、〇〇〇	三六三、〇九八

此に由りて蔘業を蘇ほしたることは甚大なるものにして耕作者は爲に蘇生の思ひを爲せり、現在組合員百三十名、大正四年の組合豫算歲出六十七萬七千餘圓歲入七十萬五千餘圓を計上す

■紅蔘專賣と財政

紅蔘專賣に依る朝鮮總督府の收入は左の通りにして貴重なる財源と謂ふことを得べし

大正四年	一、三九一、〇〇〇圓
同三年	一、二七六、〇〇〇
同二年	七一一、〇〇〇
同元年	三九四、〇〇〇
明治四十四年	一二一、〇〇〇

前述の如く人蔘の病蟲害に對する治療及び豫防の施設次第に効果を奏しつゝあり產額豐富となり品質亦良好に向ひつゝあるを以て豫定の製造高即ち三萬斤に達するの日も遠からざるべく其市場價格現況以下に落ちずとせば毎年約二百萬圓の收入を打算し得べし

火事

寺火事や大事とならで峰の月　橙黄子
島火事や人呼び交ふ浪の上　同
雨火事は岸打つ浪に明けにけり　同
燒跡の塀高々や大榎　同
船火事や油の如き夜の海　如泥子
火事の荷の中に物喰ふ女かな　同

雪舟

雪舟の客遲しと煮る火盛れり　橙黄子
雪舟宿の人眼に動く時計哉　同
雪舟驅る滿街の灯を奪ふ月　同
馬の腹膨れ喰ふや轅傷　同
目も遙かに行く雪舟雲のたゞよへる　如泥子
雪舟犬の毛深々と頼もしき　同
疎林ゝ空山へ雪舟縷の如し　韮城
氷上を急ぐ馬橇や鈴はげし　一路

餅搗

餅の臼どかと据えたり渉を前　如泥子
餅搗やよべのまゝある厨の灯　山民

古暦

嘘書きし日記破りつ古暦　青眉
主逝きて見透く家運や古暦　山民

水涕

水涕や我子誤まつ若の眼に　橙黄子
水涕に忙しき針や又折るゝ　同
水涕や人を恃みに就ける職　同
水涕や心に迫へる厩の灯　同
水涕や佛とねたる堂の風　如泥子

蒲團

父と共に旅寢ものうき蒲團かな　雲帝
閉めし戸を確に起く蒲團哉　山民

雜

爐開いて朱入れ半ばや謠本　陵雨
茶の花や落葉焚く煙土臭き　同
障子貼れば風に弛むし落葉かな　山民
白楊並木の風鳴りて夜な冴ゆる　丹葉
雛連れて畑荒らす鶏や春隣　麥圃
一望の果樹整然と山眠る　留岳人
菜摘けば我愚憐れむ鼠かな　獸鶴
貯水堤を築初めて鴨來たりぬ　可秀
山茶花や歯に絲つけて拔き居る子　よしみ
湖眞水戰ふ大河氷りけり　韮城
枯荻に畑佗しきや瓦燒き　橙黄子
孔孟の習慧を踏襲や多龍　雉子郎

祝三千號記念
京城府漢江通
清酒 醬油 白米
三巴商會支店
電話五六四番

祝三千號記念
京拔本町郵便局前
おもちや
岩田北陸堂
電話二四八七番

祝三千號記念
京城府元町
土木建築請負業
藤田安之進
電話五五一番
外組員一同

祝三千號記念
縫目なし蚊帳朝鮮總代理店
義濟堂會社製品一手特約店
シンガーカタン糸一手特約店
八千代生命保險會社代理店
唐川吳服店
京城明治町二丁目
電話二六一番
振替京城一〇〇番

祝三千號記念
醫療用藥品器械、理化學用藥品器械、鑛山分析用藥品器械、最近新藥類一般
ヨーグルト發賣元
本店 東京日本橋區本町四丁目
朝鮮總督府醫院御用達
總督府警務總監部中央試驗所
東京島久京城支店
京城明治町二丁目六十三番地
電話一四四四番 振替京城六七七

祝三千號記念
京城府新龍山三角地
龍山むしぶろ

祝三千號記念
華道池坊生花
家元盛花教授
京畿道目代職
今井秀甫
京城漢江通三丁目

祝三千號記念

土木建築請負（イロハ順）

龍山漢江通 間組出張所 電話四四〇番
龍山榮町 堀內組出張所 電話三一五番
同 龜割組 電話一四番
京城旭町二丁目 鹿島組出張所 電話三九六番
京城南大門通五丁目 谷口組 電話九六〇番
龍山漢江通 久米組出張所 電話六三四番
同 松本組支店 電話一五二番
同 松尾重信營業所 電話四五六番
京城吉野町 前田組 電話一五九番
龍山榮町 小林組 電話一二番
龍山漢江通 荒井組 電話二〇二番
京城旭町一丁目 阿川組 電話一二八番
龍山漢江通 有馬組 電話三一七番
京城日ノ出町 志岐組事務所 電話三〇五番
京城古市町 白川組出張所 電話二四八一番
龍山漢江通 菱川組出張所 電話三二六番
京城花園町 盛陽社 電話一七六七番
京城旭町二丁目 菅原工務所 電話一六八九番

土木建築用工具ノ研究調査
土木建築器具機械貸借紹介
土木建築技術者及組合紹介
土木建築工事用資金ノ融通
「工友」毎月發行組合及配下善行表彰
圖書新聞雜誌縱覽及玉突遊戲
京城長谷川町八十四番地
（友）工友俱樂部
電話二四六七番

近來メキ〳〵と増加し出したのはタオルの需用です到る所の會社商店を始め旅館料理店では御進物用或は印入實用的に益々其需用増しましたのは品の實用的に永久的價値を認められて來たからです

◎ソコデ染賃も安く出來ます一打に付片端摺り込五錢兩端で七錢形代は横文字一行に付き二十錢づゝ申受けます事と致て居ります

御申越次第タオル見本を進呈す

大阪市東區本町通り四丁目市電停留所西入南側

製造卸問屋 富田滿商店

電話本局二七四一番 振替大阪二九一二四番

大阪株式取引所仲買人

公債株式 定期現物 問屋 アサヒ屋商店

大阪市東區北濱二丁目株式取引所南門側

電話本局 長距一九八番 長距一九九番 長距九七八番 長距三三四四番

◎營業案内週報電信略號御一報次第進呈可仕候

大阪堂島米穀取引所仲買人

宮谷惣右衛門商店

大阪市北區堂島濱通一丁目

電話 長距北二五五、長距北二五六番、特長北二五七番 長距北二五八番、特長北二五九番、自宅本局一九七三番

貴婦人紳士用

エンゼル香油

中瓶縮寫

御婦人大切の毛髪をサラット艶ある濃き髪に望まるゝ御方は芳香品質共に最も優れたる大阪三三號のエンゼル香油を御召し遊ばせ

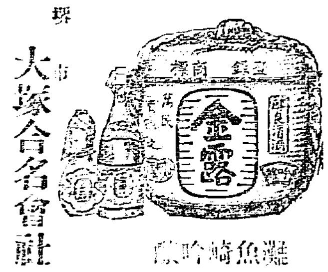
定價 十五錢 廿五錢 三十五錢 四十五錢

エンゼル セイジン 化粧品本舗

大阪市南久寶寺町一丁目 大阪三三號

全國到る處の化粧品小間物店にあり

醇良清酒



灘魚崎吟醸

堺市 大塚合名會社

大町桂月先生監修

通信界の最大武器出づ

大好評 忽ち三版

類語 文例 書翰文大辭典

四六形總クロス製 紙數千八百四十頁 (長六寸三分 巾四寸三分 入箱)

◎定價金貳圓貳拾錢 五千部限り特價壹圓八拾錢 (小包料金十六錢 滿鮮地方四十錢)

本書は作文の大家大町桂月先生監修の下に聘堂編輯部が心血を濺ぎ四ケ年の星霜を費して新に完成せり其内容は新年春夏秋冬慶弔旅行洋行等百般の事項網羅せざるなく如何に書きにくい手紙も自由自在に認め得べき方法を說明せり文例には長文あり短文あり通俗體あり美文體あり漢文體あり用文ありて類語は應用の自在と範圍の廣き事を期し其精確を期す到る處完璧を期するの結果遂に四年の星霜の日子を費し紙數千八百四十頁の大編纂となれり手紙の上手は社交と業務の最大武器にして巧拙は成功と不成功の岐るゝ所なり大正新時代に活躍せらるゝ實業家、銀行家、政治家、事務員、學生諸君は固より一般家庭の知識の大寶庫として必ず本書を座右に備へ日常無限の業務に活用せられよ

發行元 大阪市東區博勞町四丁目 立川文明堂 電話南三〇九四 振替大阪一四六一番

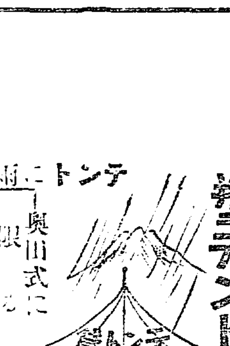
テントは宮武に限る

テント 諸車雨覆 防水布 製造販賣 安價貸テント仕候

大阪市北區南安治川通二丁目 宮武テント商行 電話西四三四六番

防水布護謨引 并ニテント雨覆

テントニ雨具は―奥田式に限る



製造販賣 奥田商會

電話 振替大阪

平山午介題字 加藤惠義序文 (外二名)

細密調査 市町村便覧

三府四十三縣◎樺太◎朝鮮 北海道◎關東洲◎臺灣

森田公美編著

四六形九百五十餘頁 總クロス金文字入 正價金壹圓廿錢 送料二十錢 朝鮮臺灣樺太支那廿錢

(好評十版) 處世と修養 自己の爲めに

衆議院議員 三十四銀行頭取 小山健三先生序

大阪高等商業學校教頭 下河內十二藏先生序

加藤彰廉先生序

井上如眞著

四六形美本石版摺 定價金四十錢 (送料金八錢)

人生の行路は實に難し本書は是が羅針盤たり世の有爲なる人士に本書を勸む

發行元 大阪市南區安堂寺町四丁目 井上一書堂 電話南二七七八 振替大阪三四九四

◎書籍總目錄御入用の方は往復ハガキにて御申越あれ

專賣特許 レスピラチン

絶妙ナル呼吸器病新藥

本新藥は坪井、緒方、佐多三醫學博士、神中醫學士等の實驗證明にして從來肺結核に對し世の公認せる一クレオソート一を基礎とし特種の方法により化學的に集成したる一新誘導體の防腐殺菌力を有する新藥なり而して該藥は各種呼吸器疾患に對し極めて正確に迅速に奏効し且つ胃腸に障害なく血中に吸收せられ何等の副作用を呈せず之を連用するも蓄積作用なし

適應症 肺結核、肋膜炎、慢性氣管支炎、急性氣管支炎、流行性感冒、喘息、百日咳、等に奏効顯著

丹毒禿頭病 ヨヂシン軟膏

本品は大阪醫科大學病院皮膚科教授の實驗報告に示す如く第三期梅毒にサルバルサン、サリチル酸水銀、沃度カリ等を投與し治癒し易からざる患者にヨヂシンを注射し顯著なる奏効を示せり其價値を認められたるものなり又チラシナミン等の治療的價値と相俟ちて本新藥は其缺點を除き良好なる價値を有する最新藥なり

容器 三入

驅梅新藥 ヨヂシン

本品は梅毒性各種皮膚病患者に對し特に効藥として提供せし從來市場に賣るゝ梅毒藥と選を異にするのみならず各種難治の下疳潰瘍硬結を解凝するに偉効あり殊に圓形禿頭病―タイワンハゲに使用して驚くべき奏効あるは世既に定評あり

容器 十五瓦入 五十瓦入

合資會社 大阪化學研究所

各地著名藥店にて取次販賣す

各種藥品說明書無料進呈

大阪市東區内平野町二丁目 電話東三六〇七番 振替大阪六〇九八 東京一六八六五

廉價と勉强は東洋一

◎定價表進呈

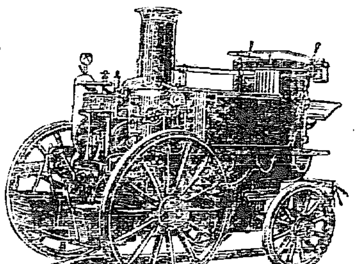
日本ペイント製造合資會社

大阪市北區南安治川通一丁目十六番地

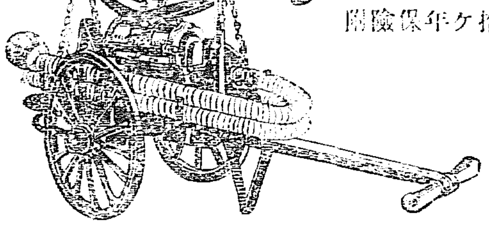
電話西一五二一番 一五二三番 振替口座大阪八二七三 電略 (ニ)へ

消防用喞筒は佐藤式に限る

運用輕快なる專賣特許佐藤式ポンプ



拾ケ年保險附



蒸氣ポンプの特色は佐藤式によりて發揮す ◎詳細なる說明書は御申越次第呈す

合資會社 佐藤鐵工所 電話西一三五六番

各種 花の色

煎豆類一式

磯みどり 錦せんべい 吉野美味

茶菓酒席の御用には至極好評 妙絶佳味

製造卸商 開春軒本店 大阪市南區 振替大阪二一七九

開春軒支店 電話三百十番

懸賞歌謠發表

第二回=秀逸六十四篇

○鋤鍬一挺で京剪り拓らき殘す屍で土肥やす。 太田 風骨

○紅い日の丸潮の樣な意氣で立てましよ新領土。 奉天 砂丘 秋

○張つておくれよ漢江の氷浮名流すがうらめしい。 龍山 山本 神路

○北は咸鏡南は全羅米のみのらぬ所は無い。 京城 千つる

○肥沃千里の蒙古が原に我が植ましよ櫻の木。 水鐵面 内 天外

○鐵は奧朔で小作もしたが孫は滿洲で大地主。 京城 高田 傲子

○朝鮮よい國、山では金剛河ぢや漢江や、鴨綠江。 坡州 山田 芳郎

○つれて來た孫子に老ひし拜一人雞の樣になりわいの習ていふ字はあまていす柿にいのりているわいな(ヌレテ來た) 京城 山城府主人

○お出でなさいよ何處までも今の言葉を忘れずに留守は女の役ぢやもの何の未練に泣きはせぬ。 平壤 江上 舟人

○死ぬる思ひをして來たが今ぢや花咲く春の風思ひ出すよ彼の時に泣いて別れた彼の人を。 同 人

○鷄林八道野も山も惠みの露に濡ひて枝もならさぬ大正の御代の榮えは千代八千代。 德山 三浦幹次郎

○日本日傘の櫻花植ゑて見たさや見せたさや廣い滿洲の果までも。 元山 露 渓

○若いも寒いも何の其の神よりうけし日の本の勇と富とのほまれをば世界の上にほこらなむ。 定州 大 陸

○日の本の神と君との御情の深き惠と大丈夫の眞心こめて世々のため手をとり合て共々に丸くかためむ五大洲。 定州 みさを

○鴨綠江を、よこぎれる、くろかねづくりの、橋柱、水はさかさに、流るとも、今はゆるがぬ、御代の春。 京城 加藤 棋雄

○あれ見やしやんせ大陸の、み空を荒らぶる雨と風、時らさにやならぬこの暴風雨、起てよ同胞今ぞ今。 京城 難波 照治

○どんと著き、汽笛一聲釜山をあとに鴨綠江も夢のうち、廿哩の速力で、三日走つてもまだ日本(さのさ節) 永登浦 安達藤一郎

○朝鮮に、櫻移してまだ若けれど、野にも山にも、おしなべて、色も香もよく、咲きにけり。 京城 檜垣 貞次

○(船橋里) 流れゆたけき、大同江、牡丹臺から眺むれば、茜さす日の、夕榮て、琵琶歌『戰死は百を超えたれど、遂に敵兵驅逐せし、わが少將の、勳や』遙かに霞む、船橋里。 平壤 井手 米次

○玄界の、山なす大波、ものともせず、のりきる汽船の、甲板に、立ちたる時の、其の決意、必ず變ふるまい。 京城 岡田 菊一

○遙くとも、淸き心の大和人、汽車で往來の滿洲や、蒙古の原も何のその。 京城 水野 湊風

○指して行くてはないかいな(淺くとも替歌) 京城 月見草

○君のため、散るはならひと、飛行器で、空をかけ行く、我夫を、下でながめる、此私の、心よわいが、はづかしい。 釜山 金子 元山

○禿げた山にも、櫻を咲かせ、廣い野原に芋つくる、役日にワシ等が、嘗りぢやと、思へば腕が、鳴るわいな。

入選の歌謠及び其選評は明日の本紙上にて發表す

○織くとも、擬持つ腕、大陸を、開く魁梅の花、香ひ輿して、彌く紘に擱めて取らん五大洲。 京城 野上 政雄

○東亞ばかりぢや舞臺が狹い、穿いた草鞋は鐵ではないが、日本男子は意氣で往く。 京城 古志 耕雨

○雲のふる里、虎ふす山家、何のこはかろ、祖國を護る、猛き一すぢ、大和心ぞ、國の華。 烏致院 深熊きた子

○誇る吉野の花よりも姥捨山の月よりも長白山や亞爾泰の雪の景色は勝りける。 釜二浦 專 堂

○遠くとも同じ日本の内ぢやもの飛んで行きたい朝鮮へ寫眞でみたか妓生の眞顔みたいぢやないかいな。(淺くとも) 京都 智 真坊

○ヌツとしてかへれば内の山の神髪りし顔のこはいけん又もおさゝかこちの人ほんのり赤しさくらいろ(ムテツシ) 同 人

○野邊の草木に東風吹いて高麗の半島が開け行く。 京城 龍山 未曉

○魂が鳴くので身體ぢや鳴かぬ高麗の大空鳴く雲雀。

○東風は徐々朝日の出で、高麗の野山に咲く櫻。

○來やれ半島へ玄界こえて大和男の子の意氣を見に。 平壤 井手 仲月

○可愛い黒土こやしもきいて見やれ漢江に水ぬるむ。

○雪を耕す男の鍬に眩い朝日がもつれつく。 京城 若の香

○こゝは三南煙るは沃野嗎は蠕く俺が畑。 沙里院 守木 芳月

○嫋し振り袖からまる此手辯いてくれな春の風。 京城 高田 傲子

○昔來たときやオンドル住ゐ今ぢや二階もありや倉もある。 元山 梅田 左近

○西へ西へと此の手を延べてまんざらでもこまませお茶受けに。 坡州 尾崎 生

○來ませ見せましよ世界の名所海と山との金剛を。

○取れた米藁つんでも見たや富士の山なら二三倍。 平壤 しげる

○脊りしやんすたぬしさん之家の先祖は汗水だ。 京鐵 稲 加

○滿洲家の庭鴨綠家の池朝鮮半島あの廊下。 京城 須磨之舍

○軒に日の旗火田は水田、影る高麗山深緑。 京城 野上 政雄

○掘れよ耕せ、たがやせ掘れよ高麗の寶は無盡藏。 京城 窪田いつ子

○所かわれど祖國の春の、匂わすれぬ櫻花。 烏致院 深熊きた子

○「渡鮮十年自慢はないが、畑こ子供を見て欲しい 釜山 獨 舟生

○風もおろしやの西比利亞までも雪をこにく共稼。 杆城 黒 江

○奈良の昔の舞の手見せて妓生可愛い朧月。 京城 千つる

○赤い禿山、ちよこ掘れば黃金鐵、無煙炭、月にうそぶく虎狩に、忘れまいぞや人蔘を。 平壤 井手 米次

○翻々と、深山に輝く、日の御旗、あれあの家も、同胞が、御國の爲めの、わびすまゐ。 平壤 中尾 長七

○大君の、御稜威輝く八道の、地圖を眺めて、こゝかしこ、胸に覺えの此腕で、進むは愉快ぢやないかいな。 金泉 早瀬五九郎

○急湍千里、飛沫浴び、流す筏に、飛ぶ鷗、棹把る腕、高麗滿洲、開く架橋が、十文字(新井節) 京城 野々上

○海を隔た他國ぢや迚も辛抱仕上りや樂天地、眞に愉快ぢやないかいな 京城 藤井慶太郎

○紺を裂く樣な一聲のこし、月の氷上橇が行く。 京城 向井のふ

○牛は丸々田は青々と沖にや鯨が潮を吹く。 龍山 十八公

○胸に未來の大望秘めて今はオンドルひぢ枕 京城 東 鬼 瓦

○高麗の禿山、滿洲の荒野春衣著せませう青々と。 京城 武藤 君代

○さくら花さく。日本にうまれ、猛虎伏す野に、埋める骨 仁川 岩村 茂

○聞けば怖ろし虎臥す野邊こ來て見りや黃金の積る山。 釜二浦 岩城源一郎

○南滿洲の高粱畑馬か斷きや日か昇る 京城 高橋 眉葉

○伴てござれよ滿洲の果に忝も質れば月もさす 青陽 索 堂

○主と二人が手をとりて、行くさき滿蒙平原地、開拓するも國のため、世帯持たうぢやないかいな。 京城 黒柳美禰子

○大和島根にさし出でし、日は朝鮮に滿洲に。照るや蒙古の山々に。植ゑよ千もこの山櫻。 龍山 碧 石 公

○見やしやんせ、あの禿山に、木をば植ゑ。廣い野原に、鍬入れて。秋の牡鹿の啼く頃にや、高麗の港は木の山。

京城日報を以て朝鮮に於ける新聞界の泰斗たるを確認す

キリンビールを以てビール界の泰斗たるを自認す

又御愛用紳士各位も此の主張に對し同意を表するに躊躇せざるべし

蓋キリンビールは品質本位なればなり

精殊なる原料巧妙なる醸造清潔なる壜詰法は共に遺憾なく其の本能を發揮せり

是れ紳士各位の御愛用益々盛なる所以なり

キリンビール發賣元 京城本町二丁目

明治屋京城支店 電話長一二二二番 一七二二番

祝三千號記念

花莚業 京城府漢芝面 早島物産商會 電話一二三八八番

祝三千號記念

鑛業 本部 京城南米倉町 蛇目鑛業所 電話長九三〇番 三八〇八番

同 分析所

支部 元山旭町十六番地 所主 蛇目萬次郎 電話三一八番

祝三千號記念

京城南大門驛前 内國通運株式會社 京城支店 電話七〇八番 一二七五番

祝三千號記念

和漢洋藥品 工業用藥品 有名諸賣藥
京城本町一丁目 **荒木藥房**
化學分析藥品 染料用繪具 其の他卸小賣
電話一〇六二番 振替京城七一八

各種印刷製本 內外圖書取次 名刺及印章類
龍山漢江通八番地 **井上商店**
電話五三三番

和漢洋藥種 工業用藥品 化粧品石鹸 有名賣藥類 繪具染料品 柿澁漆類
藥劑師 **松下健**
京城府元町二丁目

龍山元町小學校正門前
技術優越 迅速叮嚀 **エム寫眞館**
電話六二五番

於共進會褒狀受領
清酒 朝鮮一 釀造元
京城府元町一丁目 **島山酒造場**
電話一五四番

京城京町一丁目
海産物米穀 乾物卸小賣 **香椎原吉商店**
電話四〇五番 振替京城一七一一

仁川京町 **村上菓子舖**
電話五三三番

仁川仲町一丁目 **原金旅館**
電話三二番

京城郵便局前（旭町入口）
履物商 **勉強屋**
電話四四四番

仁川新町
つちや足袋代理店 **野田鶴商店**
電話四四番

慶北義城 **官公吏**

宮內省御用酒 **菊正宗**
特約店 **近江屋酒店**
大邱東本町電話三五六番

慶北醴泉邑 **三反崎商店**

慶北醴泉邑
道廳指定 **島屋旅館**
自働車停留所

慶北醴泉邑 **原田醫院**

慶北義城邑
日鮮雜貨 **岡部商店**

慶北義城
湯淺吾市
齋藤茂
井川芳松

慶北軍威邑
道廳指定 **岡部旅館**

慶北義城
道廳指定 **配川旅館**

京城旭町一丁目
會席御料理 **千成**
電話一五五二番

京城旭町一丁目
會席御料理 **京家**
電話二〇九一番

京城南山町二丁目
會席御料理 **福住**
電話一三三九番

京城永樂町
朝鮮物産毛皮貿易商 **馬場商店**
電話九八六番

京城本町二丁目
京城券番一同
電話一八一八番 一三三三番

京城本町二丁目
伊藤組本店
店主 伊藤友松
電話四〇番

運送業 **中條運送店**
店主 中條榮造
電話六三〇番

京釜線芙江
學校組合管理者 **村越仲**

京城本町一丁目
銘酒京鶴發賣元 **中川京城支店**
（電話一八一六番）

朝鮮特産の……ポケット用
登錄商標 **人參キャラメル**
製造元 **藤井製菓店**

京城明治町二丁目
かさ提燈 **三根屋**

京城黃金町三丁目
すきやきすし並に御料理 **寶來家**

京城本町三丁目 **曾我勉**
電話二三五三番

銃砲及銃彈製造並自轉車修繕記クレー製造
京城旭町一丁目 **瀧川壽太郞**
電話三八五三番

和洋金物 大工道具 打物類 理髮道具
京城本町二丁目 商 **友谷商店**
電話一三一番

仁川花町
飴製造業 **西川商店**
電話七二〇番

仁川穴門通電話七六八番 **新門本店**
仁川歌舞伎座前 **新門支店**
電話二〇九番

仁川濱町 **土井鐵工所**
電話三二八番

會席御料理
仁川濱町 **醉月 杉浦あさ**
電話一三九番

仁川濱町
運送業 **宮川組**
電話七一二番

祝三千號記念
京城本町一丁目 **小川勝平法律事務所**
電話四一番

祝三千號記念

平安北道寧邊城內 **上谷商會本店**
平壤櫻町 **上谷商會工務部**
遂安金鑛椨亭洞 **上谷商會工務部出張所**
平壤鐵町 **遂安組**
中和驛前 **遂安組出張所**
遂安金鑛椨亭洞 **遂安組出張所**

祝三千號記念

■弊行儀從來福壽洋行名儀の許に營業致し來り候處今般山田合名會社朝鮮支店と變更一層業務擴張營業能在候間倍舊御引立の程願上奉候

染料顏料 朝鮮龍山 **山田合名會社朝鮮支店**
長電話六四六番 振替貯金京城九三四番

本店 大阪市南久太郎町二丁目（通稱福壽洋行）
長電話二四八番 二四九番 二五〇番

支店 東京市神田區永富町
長電話本局三四六一

支店 京都市新町通蛸藥師
長電話一八六〇番

祝三千號記念
平壤壽町 **平安農工銀行**
電話長五五番 二三〇番

祝三千號記念
京城府漢江通
醬油味噌酒其他雜貨一式 **武藤商店**
電話一六四番

祝三千號記念
京城本町三丁目 **藪蕎麥**
電話八四七番

祝三千號記念
土木建築請負業
平壤港町 **大橋組**
長電話一三八番

朝鮮煙草業の過去及將來（上）

總督府技師 岡田虎輔氏談

▲葉煙草

▲在來種葉煙草 在來種の葉煙草が朝鮮に於て初めて耕作されしは凡そ三百年前のことにして略內地と同時代なり、而して之が傳來の徑路如何といふに第一は支那方面より第二は露西亞地方より第三は日本よりせしもの、如し、之は朝鮮在來種の名稱が大陸西草、胡草、南草の三種に區分せらるゝに依りて窺知するを得可く、卽ち西草は支那方面より入り、胡草は露國地方より傳へられ南草は日本より移されたるものなる可し、尤も朝鮮葉の地方名は頗る多樣にて細かに數へ來らば百數十種に上るも概括せば以上の三種となすを得可く此他の在來種に就きては文獻の徵すべきものなきが故に其起源は全く不明なり

▲內地種葉煙草 內地種が朝鮮に耕作されしは光武九年卽ち明治三十八年のことにして仁川在住の煙草製造業者が其原料に供せん爲め農家に託して京仁鐵道沿線なる素砂に出水種を栽培したるを嚆矢とし、翌三十九年には釜山、大邱地方の製造家が內地より種子を取り寄せ、同地方に於ける移民に配付耕作せしめたるが、其後韓國財政顧問部、大邱理事長及び司稅局大邱出張所等に於て鋭意內地種の指導獎勵に努めたる結果、此年其栽培面積を增加し遂に今日の盛況を呈するに至れり、然れども其價格の變動甚だしかりし爲め之が耕作反別には常に盛衰あり、隆熙二年及び大正二年の如きは何れも其前年に於て市價の騰貴を見たるより大に其耕作熱を煽り、栽培反別を激增したる結果非常の供給過剩を來して耕作者は之れが販路に窮し、遂に當局に對して救濟方法を請願するの悲境を見たり、然るに其翌年に於ては濫作の反動として耕作反別を激減せるより大に供給不足を訴へ製造業者は原料の購買に多大の困難を感ずるに至れる等、內地種葉煙草に就きては尠からざる波瀾を見たるも其間絕えず品質の改良を得て遂に今日の如く健實なる發達を示すに至れり

▲外國種葉煙草 外國種の中黃色煙草は大正元年忠州に於て耕作を開始せり、本種の耕作に就きては內地種の沿革に鑑み、當局に於て當初より嚴重なる指導監督を行ひ生產葉煙草は全部組合の共同販賣に付せしめ耕作反別の如きも亦制限を設けて之を許可するの方針を執り來れるを以て黃色煙草は內地種の如く價格の變動並に耕作の盛衰なく極めて圓滑裡に今日の發達を爲せり、又ホワイトバーレー種は大正四年より全羅北道全州、慶尙北道永川の二地方に於て耕作を開始せり、本種の栽培に關しては黃色種同樣の施設經營下に產地の形成を計る方針にして目下諸般の準備中に在り

▲煙草製造

▲全葉及び荒刻 朝鮮人は全葉喫用と稱し、葉煙草に何等加工することなく、之を其の長煙管に詰めて喫用する者多かりしが、近來は此傾向次第に減少して所謂荒刻み煙草を喫用する者年々增加の模樣あり、荒刻み煙草の製造は其作業極めて簡單にて葉煙草を選需しタンペカルと唱ふる刻機械を以て截刻するに過ぎず、此煙草の起源に就きて詳細の事項は明かならざるも其製法に依りて案ずるに恐らく支那地方より傳來したるものなる可し

▲細刻及び紙卷 此他一般の製造煙草は現在極めて多種多樣なるが其沿革を略述せんに、內地人が朝鮮に於て煙草の製造を開始せる當初は刻み煙草及び口付紙卷煙草の二種にして隆熙二年には京城に於て內地人の日本人之れが經營に從事せり、現に朝鮮煙草界の覇王たる東亞煙草株式會社は當時日本專賣局の製造に係る煙草の一手販賣を爲せるに過ぎざりしが明治四十二年一百萬圓の資本を以て京城に製造工場を建設し、其後四十四年には平壤に、大正元年には全州に分工場を設け、大正三年には更に其資本金を三百萬圓となして益々製造事業の擴張を計り居れり、東亞に次ぎて大規模の設備に依り銳意製造事業に努力しつゝあるは廣江商會にして先代廣江次郎氏は明治三十九年京城に小規模の製造事業を開始し不撓の勇氣を以て奮闘しつゝありしが大正元年死去するに及びて現代の澤次郎氏其後を繼ぎ年齡尙ほ若きに拘らず日夜勵精業務の發展に盡し來れる結果遂に今日の隆昌を見るに至れり、又朝鮮煙草株式會社は明治四十四年の創立に係り大正元年同じく京城に於て製造事業を開始せり

▲外國煙草驅逐 英米煙草會社は東亞其他の會社に先ち朝鮮に於て煙草の營業を開始し、一時朝鮮の煙草業を一手に占有するの勢力を示し、仁川の如きは大工場を設けて盛に製造販賣を爲しつゝありしが、東亞其他內地人製造業者之れに對抗して激烈なる營業上の競爭を試みたる結果、トラストの營業範圍は次第に縮少せられ大正三年煙草稅令發布と同時に仁川の工場は遂に之を閉鎖して上海に引上げ、輸入業に於ても亦漸次其手を縮少し、今日に於ては年額數萬圓の上級品を輸入するに過ぎざる狀況に在り、兎も角內地人製造業者の奮鬪に由り外煙を驅逐し得たる功績は朝鮮煙草史を飾るに足る可き一大功績にして吾人の感謝措かざる所なり、此他大邱、釜山方面に於ても古くより製造業を營むものあり、大邱に於ける大石商店、前之園商會、釜山に於ける釜山煙草株式會社、石田商店の如きは何れも著名なり

朝鮮に於ける商業取引（四）

京城商業會議所調査

▲毛皮商

一、鮮人間の取引方法

當地の卸商は地方の商人に對し前金拂若くは現金にて買入れ之を各小賣商に販賣す、小賣商に對する掛賣は羊皮、胄毛皮、海狗皮、[illegible]等の手皮に限り支拂期日は三十日乃至六十日間の約束手形を用ひ其他は全部現金賣買なり、小賣商の消費者に對する掛賣は全然之を爲さゞる定なるも消費者と小賣商との交誼上止むを得ず掛賣することあり此場合に於ても決濟期限は一箇月を經過するを得ず、內地人及び外國人に對しては全部現金取引にして手形の行使を許さず

▲鹼商（寶當商）

一、鮮人間の取引方法

卸商と小賣商の區別なし其地方の製造業者に前金を渡して製造せしむるか又は地方より持ち來るものを現金にて買入れ之れに金具の裝飾を加へて消費者に販賣するものにして現金なり、[illegible]

▲冠、宕、網商

一、鮮人間の取引方法

卸商即ち客主は地方の商人の持ち來るものを買受け代金は當品の販賣せらるゝに應じて支拂ふか又は物品主の希望に依り代金の全部又は一部を立替ふることあり斯る場合には立替へ金額に對し一箇月に付き二分の利子を控除したる上之を支拂ふ、[illegible]

▲鞋商

一、鮮人間の取引方法

卸商と小賣商との區別なく當地の商人は製鞋業者に對し前金拂若くは手票を振出して製造せしむ、[illegible]

二、內地人及外國人との取引方法

關者共取引無し

▲洋靴商

一、鮮人間の取引方法

卸商と小賣商との區別なし當地に於ける業者は極めて小規模のものにして注文に依り一足又は二足を製造し其代金は現金又は毎月末に收入す、地方より注文ある時は代金引換とする例なり

二、內地人と鮮人との取引方法

內地人より取引するものは全部現金にして稀に通帳を用ふるものは毎月末に計算す、又內地人に直接注文する時は代金引換の方法に依れり

三、外國人と鮮人との取引方法

消費者より注文に應ずるのみにして現金取引なり

▲乾物商（魚物）

一、鮮人間の取引方法

卸商は地方の商人の持ち來るものを買受け代金は當品の販賣せらるゝに隨つて之を支拂ふか又は四把守乃至六把守の期間を以て約束手形若くは魚鹽を振出す、現金にて買受くる場合は當品の販賣せらるべき日數を概算して毎把守に對し代金一百圓に對する七十錢（一分二厘）の割にて代金の內より之を控除したる上支拂ふ例なり

卸商が小賣商に賣却したる掛賣代金は其の月くの夕方に收入するを常とするも雙方の契約に依り毎把守に分配して計算することあり、小賣商の消費者に對する掛賣代金は毎月末日に計算すると雖も延期の結果未濟額は翌年末に之を決濟す

二、內地人と鮮人との取引方法

鮮人の卸商は內地人の貿易商より委託販賣を受くること多し、斯る場合には賣却代金の[illegible]分の五を手數料として[illegible]

三、外國人と鮮人との取引方法

[illegible]

▲果物商

一、鮮人間の取引方法

[illegible]

二、內地人と鮮人との取引方法

[illegible]

三、外國人と鮮人との取引方法

[illegible]

▲金銀商

一、鮮人間の取引方法

[illegible]

▲料理商

一、鮮人間の取引方法

[illegible]

▲時計商

一、鮮人間の取引方法

[illegible]

二、內地人と鮮人との取引方法

[illegible]

三、外國人と鮮人との取引方法

[illegible]

▲書籍商

一、鮮人間の取引方法

[illegible]

二、內地人と鮮人との取引方法

[illegible]

三、外國人と鮮人との取引方法

[illegible]

▲牛肉商

一、鮮人間の取引方法

[illegible]

二、內地人と鮮人との取引方法

[illegible]

三、外國人と鮮人との取引方法

[illegible]

祝三千號記念
京城本町二丁目
近藤貴生堂薬房
電話一三八番

祝三千號記念
（いろは順）
京城米倉町 今村精米所 電話一四〇六番
京城米倉町 龍山精米所 電話一二四番
京城古市町 待井精米所 電話二一八番
京城蓬萊町 京城精米所 電話三三八番
京城蓬萊町 天日精米所 電話三四三番

祝三千號記念
京城本町二丁目
關商店
電話四七六番

祝三千號記念
京城旭町一丁目 辯護士 大久保雅彥 電話八三九番
京城黃金町一丁目 辯護士 中村時章 電話六三一番
京城本町三丁目 辯護士 松本正寬 電話一〇五四番
京城永樂町二丁目 辯護士 安住時太郞 電話一四八二番
京城西小門町 辯護士 朝倉外茂鐵 電話一六二八番

祝三千號記念
いろは順
京城南大門通一丁目 株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通二丁目 株式會社 漢湖農工銀行
京城南大門通一丁目 株式會社 漢城銀行
京城南大門通一丁目 株式會社 韓一銀行
京城本町二丁目 株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目 株式會社 京城銀行
京城黃金町二丁目 株式會社 十八銀行京城支店
京城本町一丁目 株式會社 百三十銀行京城支店

祝三千號記念
鑛業
京城明治町一丁目 小林鑛業本部 電話六五五番
黃海道長淵郡 小林樂山鑛業部

祝三千號記念

祝三千號記念
京城
中村再造

祝三千號記念
京城古市町
工事部
材料部
堀内商店
電話一六九番

祝三千號記念
龍山質屋組合

祝三千號記念
京城府岡崎町
材木商 清水製材所
御注文次第迅速に製材仕候間多少共御用命願上候

▲本品は朝鮮總督府專賣課所管人蔘を以て斯門學者の監督の下に日本藥局方に最新藥學の方式に依り其惡性なる成分を悉め精製したる靈藥にして其効力や既に定評あり
高麗人三越幾斯
▲參精 專賣課に於て紅蔘を製造の際蒸釜より垂れ落つる汁を煮詰めたるものにして其製法及効力高麗人三越幾斯と全く異なれるを以て價も亦極めて卑廉なり當店にて販賣す

朝鮮總督府法定消毒劑
無害 無毒
ゼルアイ
猩紅熱其他傳染病豫防新藥
宜壽堂
井上藥品部
鐘路・電話八・一一五七

祝三千號記念
釜山本町二丁目
追間本店
長電話三二一五番

祝三千號記念
釜山漁港内
漁業 香椎事務所
電話五四一一六

祝三千號記念
釜山府辨天町
大池本店
電話（國）二一九番 （長）七六三番 八二四番

祝三千號記念
東萊温泉場
蓬萊館
電話東萊五番

祝三千號記念

建築請負業
京城旭町一丁目
山本鑑之進
京城出張所
電話一九三六番

祝三千號記念

△良品は經濟なり
△我社の製革は强靱にして舶來品を凌ぐ

朝鮮永登浦
朝鮮皮革株式會社
京城南大門通一丁目
朝鮮皮革株式會社出張所
電話一〇八二番

△我社の製革は堅牢にして耐久力に富む
△而して其價格は頗る低廉なり